

令和7年度

授業概要 (シラバス)

米子東高等学校 定時制課程

年次	氏名	
----	----	--

目次

概要

I 科目一覧	1
II 必履修科目一覧	1

1年次科目

国語

現代の国語	2
言語文化	4

地理歴史

地理総合	6
------	---

数学

数学I	8
-----	---

理科

科学と人間生活	10
---------	----

保健体育

体育	12
保健	14

英語

英語コミュニケーションI	16
--------------	----

家庭

家庭基礎	18
------	----

2・3年次科目

国語

国語表現	20
文学国語	22
古典探究	24

地理歴史

歴史総合	26
地域研究	28

公民

公共	30
倫理	32

(2・3年次科目 続き)

数学

数学II	34
数学A	36
数学B	38

理科

物理基礎	40
化学基礎	42
生物基礎	44
地学基礎	46

保健体育

体育	48
保健	50

芸術

音楽I	52
書道I	54

外国語・英語

英語コミュニケーションII	56
論理・表現I	58
ディベート・ディスカッションI	60
総合英語I (4単位)	62
総合英語I (3単位)	64
エッセイライティングI	66

家庭

家庭総合	68
保育基礎	70
フードデザイン	72

情報

情報I	74
-----	----

総合的な探究の時間	76
-----------	----

(あなた)の時間割	裏表紙
-----------	-----

I 科目一覧

1年次 (25単位)		群 (単位数)	2・3年次 (30単位×2)	
授業科目	現代の国語 (2)	A (4)	数学Ⅱ 総合英語Ⅰ	物理基礎 保育基礎
	言語文化 (2)			
	体育 (2)	B (4)	文学国語 歴史総合	英語コミュニケーションⅡ フードデザイン
	保健 (2)			
	数学Ⅰ (3)	C (3)	公共 論理・表現Ⅰ	化学基礎
	家庭基礎 (2)	D (2)	数学B 生物基礎	地域研究
	英語コミュニケーションⅠ (3)		体育 (3)	
通信科目	地理総合	E (4)	地学基礎 ディベート・ディスカッションⅠ	音楽Ⅰ 書道Ⅰ
	科学と人間生活	F (4)	国語表現 情報Ⅰ	保健※ 家庭総合 エッセイライティングⅠ
O 限		G (3)	古典探究	総合英語Ⅰ
		H (2)	倫理	数学A
総合的な探求の時間(1)				

※F群「保健」は未履修者を対象とする。

II 必履修科目一覧

()内は標準単位数

国語	現代の国語 (2) 及び言語文化 (2)
地理歴史	地理総合 (2) 及び歴史総合 (2)
公民	公共 (2)
数学	数学Ⅰ (3)
理科	科学と人間生活 (2) 及び 物理基礎 (2)・化学基礎 (2)・生物基礎 (2)・地学基礎 (2) から1科目 合計2科目 または 物理基礎 (2)・化学基礎 (2)・生物基礎 (2)・地学基礎 (2) から3科目
保健体育	体育 (7~8) 及び保健 (2)
芸術	音楽Ⅰ (2)・書道Ⅰ (2) から1科目
外国語	英語コミュニケーションⅠ (3)
家庭	家庭基礎 (2) 及び家庭総合 (4) から1科目
情報	情報Ⅰ (2)

教科名	国語	科目名	現代の国語	単位数	2		
対象学年	1年	一般・通信	必履修・選択必履修・選択				
科目の目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>						
学習内容の概要	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>B 書くこと</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読みとったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>						
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。				
教科書、教材など	○新編現代の国語(大修館書店) ○授業用ワークシート ○辞典						
授業形態	2クラスに分けて授業を行う。習熟度クラス。						
年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	ことばをひらく ことばの学びに向けて/「変わる」ことを楽しもう/コミュニケーションは技術だ 【言葉】ことばの準備体操	・今後の学習で取り組みたいこと、興味のあることについて自分の考えを見つめる。 ・コミュニケーションを上達させていくことに興味を持つ。	7	小テスト	WS (1,4,2)	WS 観察
	5	日本語を使いこなす ことばの使い分け/正しく書こう/文を整え、文をつなぐ/伝わるように話そう	・相手に伝わりやすい表現方法を理解する。・TPOに応じて適切な言葉を選ぶ。 ・正しく適切な表記について理解する。 ・情報を的確に説明する方法を理解する。	7	WS 小テスト	WS (2,3,2)	観察

6	6	<p>【表現への扉】 わかりやすく説明する</p> <p>説明のしかたをとらえよう人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いかなンバーワンか、オンリーワンか/生きることと食べることの意味/絵や写真を説明しよう/料理レシピを書こう/ショートスピーチをしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔で分かりやすい文章を書く。 ・相手に伝えたいことを、わかりやすく整理して話す。 ・説明のしかたに注意して文章を読む。 ・接続表現に留意して読み、説明のしかたをとらえる。 ・わかりやすい説明のしかたを身に付ける。・目的や読者に応じて、わかりやすい説明になるように情報を整理する。 ・話の構成や展開を工夫して話す。 	6	WS 小テスト	WS (1, 2, 3)	観察
	7	<p>【1学期中間考査】 聞く力を育む</p> <p>聞き取りのレッスン/ミニインタビューをしよう/聞き取ったことをまとめよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を意識して、メモを取りながら聞く。・相手から必要な情報を引き出せるよう、質問しながら聞く。 ・聞き取った情報を整理したり、編集したりし、わかりやすく効果的な文章を書く。 	1 7	考査 WS 小テスト	考査 WS (1, 5, 1)	観察
	8	<p>【表現への扉】 論理を読み取る</p> <p>論理の展開を読み取ろう/オカビの胃袋はいくつか/商品と贈り物の違い/水の東西</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章の要旨を的確に読み取る。 ・具体例の働きをとらえ、具体と抽象の関係を考えながら読む。 ・対比の関係に着目し、その意図を考えながら読む。 	7	WS 小テスト	WS (2, 3, 2)	WS
	9	<p>読書の広場</p> <p>極北へ/ももこのいきもの図鑑/宇宙人はいますか?/ 鉄を削る/本のPOPを作ろう/多様なジャンルの本に手を伸ばそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の意義について考えを深める。 ・筆者の思い、技巧、主張を読み取る。 ・POPに必要な情報を整理し、伝えたいことを明確にする。 	6	WS 小テスト	WS (1, 5, 0)	
	10	<p>【1学期期末考査】</p> <p>伝え合いのレッスン</p> <p>対話のレッスン/テーマを決めて話し合おう/</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に配慮した言葉遣いや表現の仕方を知る。 ・話し合いの目的を意識し、目的に沿った話し合いの進め方を考える。 	7	WS	WS (1, 5, 1)	観察
	11	<p>【表現への扉】 説得力を高める</p> <p>意見文の基礎を学ぼう/反対意見を想定した意見文を書こう/ミニ討論会をしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文の基本的な書き方と、構成のしかたを考える。 ・反対意見を想定しつつ、自分の意見を説得力のある文にまとめる。 ・相手の主張と根拠の関係をとりえて反論する。 	6	WS	WS (1, 4, 1)	観察
	12	<p>【表現への扉】 情報と向き合う</p> <p>情報を吟味しながら読もう/情報の力関係/世界は私にほほえんでいる/どこもかしこもプラスチック!/レポートを書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視点や根拠に注意し、情報を吟味しながら読む。 ・ヴィジュアルな情報が読者に与える効果について考える。 ・筆者の主張と根拠の関係を吟味しながら読み、自分の意見をもつ。 	7	WS 小テスト	WS (2, 5, 0)	観察
	12	<p>【表現への扉】 【2学期中間考査】 他者を動かす</p> <p>魅力的な企画書を書こう/ プレゼンテーションをしよう/相手を動かす依頼状を書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決め、適切な方法で情報を集める ・対象者を明確にし、説得することができる企画書を書く。 ・聞き手の心を動かし、目的を達成するために、構成や発表の仕方を工夫する。 	1 7	考査 WS	考査 WS (2, 5, 0)	観察
	1	<p>【表現への扉】 社会に目を向けて</p> <p>自分の考えを深めながら読もう 何のために「働く」のか/自分の考えをつくるために</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて、適切な通信手段を選択する。 ・筆者の主張を的確に読み取り、それに対する自分の意見をもつ。 ・筆者の問題意識と主張を読み取り、それを踏まえて自分の考えを広げる。 	7	WS 小テスト	WS (1, 5, 1)	WS
	2 3	<p>【表現への扉】 【2学期期末考査】</p>		1	考査	考査 (20, 40, 14)	
備考			合計	78	WS : ワークシート		

教科名	国語	科目名	言語文化	単位数	2		
対象学年	1年	一般・通信	必修・選択必修・選択				
科目の目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>						
学習内容の概要	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>B 書くこと</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読みとったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>						
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。				
教科書、教材など	○新編言語文化(大修館書店) ○授業用ワークシート ○辞典						
授業形態	2クラスに分けて授業を行う。習熟度クラス。						
年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	ことばと出会う 言葉の森を育てよう	・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する	5	小テスト WS	WS (2, 2, 1)	観察

		季節の言葉と出会う 漢字と仮名の使い分け 古文に親しむ 古文への招待 いろは歌/古文冒頭選 児のそら寝/十二の「子」 文字/阿蘇の史、盗人にあひてのがるること	・古語と現代語のつながりについて理解すると同時に、音読し、響きやリズムを味わう。 ・繰り返し音読し、古文の読みになれる。 ・作品の内容や構成、展開などを捉える。 ・説話文の内容や展開を的確に捉える	5	小テスト WS	(2, 1, 2)	WS
	6	表現を味わう 水かまきり/とんかつ 読書のひろば 一瞬の風になれ/鏡 【1学期中間考査】	・文学作品の描写や会話、特徴ある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る	6	WS	(0, 5, 1)	観察
	7	漢文に親しむ	・漢文の音読の決まりについて理解する。	1	考査	考査	WS
	8	訓読のきまり/格言/再読文字 【言語文化の窓】	・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。	5	小テスト WS	WS (2, 2, 1)	WS
	9	文化を見つめる 足し算の文化/ほどほどのデザイン 【言語文化の窓】	・日本文化の特徴について、筆者の主張を捉える。/身の回りの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。	5	WS	(0, 4, 1)	WS 観察
		物語を受け継ぐ 羅生門 【言語文化の窓】	・小説の構成を捉え、登場人物の心情の変化を読み取る。/元になった古典作品との比較を踏まえて、内容の解釈を深める。	6	小テスト	WS (2, 3, 1)	WS
		随筆を楽しむ 徒然草 枕草子	・音読して古文の読みに慣れ、文章の特色を理解する。	5	小テスト	WS (3, 2, 0)	WS
		現代に生きることば 守株/五十歩百歩/蛇足/狐借虎威 【言語文化の窓】	・故事成語の言葉の意味について、考えを深め、教訓の意義を理解する。	5	小テスト WS	WS (2, 2, 1)	WS
		ことばと生きる 祖母が笑うということ ことばは光 コルベ神父 【言語文化の窓】 【1学期期末考査】	・叙述を元に、場面の様子や人物の心情を想像する。/・読み取ったことを踏まえて、自分の経験を振り返り、考えを深める。	6	WS 小テスト	WS (1, 5, 0)	
2	10	物語の広がり 伊勢物語/平家物語 【言語文化の窓】	・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する/音読して文体の特徴をとらえる。 ・和歌の果たす役割を考える。/登場人物の心情の変化を読み取る。	5	WS	WS (2, 2, 1)	WS
		古人に学ぶ 論語 学問のすすめ/社会に生きる 【言語文化の窓】	・『論語』の内容を正確に捉え、講師の考え方を理解する。 ・孔子の思想と現代の関わりについて自分の考えを深める。	5	WS	WS (2, 2, 1)	WS
	11	近代文学に触れる 夢十夜 形 【言語文化の窓】 【2学期中間考査】	・作品の状況設定を的確にとらえ、人物の心情や象徴性を読み取り、味わう。	6	WS	WS (0, 4, 2)	観察
	12	旅への思い 土佐日記/更級日記 /おくのほそ道 【言語文化の窓】	・文章展開や和歌の内容に注意し、登場人物の心情を読み取る。/文章展開に即して作者の心情を読み取る。/文章と句の関係に留意し、詠まれた情景や心情を考える。	1	考査	考査	
		漢文を楽しむ 完璧/鷄鳴狗盗/人面桃花 【言語文化の窓】 【2学期期末考査】	・音読を通して漢文訓読の口調に習熟する。 ・古人の知恵や教訓を理解する/豊かな人間性を読み味わい、表現の特徴を理解する。	5	WS 小テスト	WS (2, 3, 0)	WS
	1			5	小テスト	WS (2, 2, 1)	WS
	2			1	考査	考査	
	3					(22, 39, 13)	
備考				合計	78	WS : ワークシート	

教科名	地理歴史	科目名	地理総合	単数	4
対象学年	1年	一般・通信	必履修	選択必履修	選択
科目の目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>				
学習内容の概要	<p>A 地図や地理情報システムで捉える現代世界</p> <p>B 国際理解と国際協力</p> <p>C 持続可能な地域づくりと私たち</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に観られる課題の解決に向けて構想したり考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理や歴史に関わる所持小について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。		
教科書、教材など	『わたしたちの地理総合 世界から日本へ』(二宮書店) 『基本地図帳』(二宮書店)				
授業形態	一斉授業、レポート				

学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	1章 地図とGISの活用 1・球面上の世界 2・国家の領域と領土問題 3・国内や国家間の結びつき 4・日常生活のさまざまな地図 【定期考査】	球面として成り立つ世界への認識を持ち、その中で日本の位置を理解するため緯度・経度の仕組み、時差計算の技能各種地図の図法や活用法について学習する。また、領域や国家について学習し、日本が抱える領有権問題にも理解を深める。	2	定期考査 レポート 実習	ワーク シート	観察
	3						
	1						
	4			定期考査	ワーク		

7	2章 生活文化の多様性と国際理解	<p>地形や気候が人間の生活や文化に大きな影響を与えることを理解するため、大地形・小地形・ケッペンの気候区分について学習し、それを踏まえて気候と人間の生活との関係について例を挙げて学習する。</p> <p>グローバル化が進む中、自他の文化を尊重する視点を養うため、多様な社会の在り方や宗教と生活の関係について学習する。</p> <p>地球規模で取り組むべき世界の諸課題について、これまでに学習した地図等の資料を活用して理解を深め、課題の解決について自分の意見が述べられるようにする。このため、各課題について、複数の国や地域を取り上げ学習する。</p> <p>日本列島の地形や気候の特徴を理解し自然の恩恵がある一方、災害が発生する要素があることを理解する。</p> <p>災害の発生について理解するため、地図や資料を活用する技能を身につけ、減災・防災意識の向上を図る。</p> <p>日本が抱える地域的課題について、身近な地域を取り上げ、聞き取りなどの調査を行う技能を身につけ、結果をまとめ、考察・報告する技能を身につける。</p>	3	レポート	シート	<p>観察</p> <p>観察</p>
8	1・自然環境と生活文化 2・産業の発展の生活文化 3・言語・宗教と生活文化 4・グローバル化の進展と生活文化		2			
9	[定期考査]		4 1			
10	3章 地球的課題と国際協力		3	定期考査 レポート	ワーク シート	
11	1・人口・食糧問題 2・居住・都市問題		4 1 3			
12	[定期考査]					
1	3・資源・エネルギー問題 4・地球環境問題		3			
2	4章 生活圏の諸課題 1・自然環境と防災 2・持続可能な地域づくり [定期考査]		3 1	定期考査 レポート 実習	ワーク シート	
3			1			
備考		合計	39			

教科名	数学	科目名	数学 I	単位数	3
対象学年	1 年	一般・通信	必履修	選択必履修・選択	
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>(1) 数と式 数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>(2) 2次関数 2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>(3) 三角比 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>(4) 集合と論証 集合に関する基本的な概念を理解する。命題に関する基本的な概念を理解するとともに、基本的な命題の証明ができるようにする。</p> <p>(5) データの分析 統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。</p> <p>[課題学習] 学んだ内容を、生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題に取り組む。</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	<p>数学 I における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。</p>	<p>命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができる。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>		
教科書、教材など	『高校数学 I』(実教出版)				
授業形態	一斉授業(習熟度別授業)				

年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	1章 数と式 1節 整式 1. 文字を含んだ式のきまり 2. 整式 3. 整式の加法・減法 4. 整式の乗法 5. 乗法公式による展開 6. 因数分解	・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。	18	小テスト	小テスト	観察 小テスト
	5				小テスト	小テスト	
	6	2節 実数 1. 平方根とその計算 2. 実数	・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。 ・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。	11	中間考査	中間考査	
	7	3節 方程式と不等式 1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の性質 4. 1次不等式 5. 連立不等式 6. 不等式の応用	・不等式の解の意味・不等式の性質について理解し、1次不等式が解けるようにする。	10			
	8			15	小テスト	小テスト	小テスト
	9	2章 2次関数 1節 関数とグラフ 1. 1次関数とそのグラフ 2. 2次関数とそのグラフ	・関数の概念について理解し、2次関数のグラフがかけられるようにする。	11	期末考査	期末考査	
	10	2節 2次関数の値の変化 1. 2次関数の最大値・最小値 2. 2次関数のグラフと2次方程式 3. 2次関数のグラフと2次不等式	・2次関数の値の変化についてグラフを用いて考察し、その最大値や最小値を求められるようにする。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解するとともに、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	10	小テスト	小テスト	小テスト
	11	3章 三角比 1節 三角比 1. 三角形 2. 三角比 3. 三角比の利用 4. 三角比の相互関係	・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解するとともに、鋭角の三角比を利用して2地点の標高差や水平距離を求められるようにする。	10	中間考査	中間考査	
	12	2節 三角比の応用 1. 三角比の拡張 2. 三角形の面積 3. 正弦定理 4. 余弦定理 5. 正弦定理と余弦定理の利用	・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解するとともに、正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求められるようにする。 ・三角比を用いて三角形などの面積を求めたり、空間図形の考察に活用できるようにする。	12	小テスト	小テスト	小テスト
	2	1			9		
2		4章 集合と論証 1節 集合と論証 1. 集合と要素 2. 命題 3. いろいろな証明法	・集合に関する基本的な概念を理解する。 ・命題に関する基本的な概念を理解するとともに、基本的な命題の証明ができるようにする。	14	小テスト	小テスト	小テスト
3		5章 データの分析 1節 データの分析 1. 統計とグラフ 2. 度数分布表とヒストグラム 3. 代表値 4. データの散らばり 5. 外れ値 6. 相関関係 7. 仮説検定の考え	・統計の基本的な考えを理解するとともに、データの散らばりを数値で表してデータの傾向を把握したり、散布図や相関係数を用いて2つのデータの相関を把握できるようにする。	7	期末考査	期末考査	
		課題学習 1. 黄金比と $\sqrt{\quad}$ の計算 2. 売り上げ金額の最大値を求めてみよう 3. 角度を変えて斜面を滑ろう 4. 何票とると当選？ 5. カード集めの問題	・本文で学んだ内容を、生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題に取り組む。				
備考			合計	117			

教科名	理科	科目名	科学と人間生活	単位数	4
対象学年	1年	一般・通信	必修修・選択必修修・選択		
科目の目標	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>				
学習内容の概要	<p>(1) 科学技術の発展</p> <p>(2) 人間生活の中の科学</p> <p>(3) これからの科学と人間生活</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に係わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
教科書、教材など	『科学と人間生活』（数研出版）、授業プリント、レポート				
授業形態	一斉授業				

学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	序編 科学技術の発展	科学技術の発展について科学が果たす役割を学び科目の目標を把握する。物理・化学・生物・地学の各分野の内容を探究活動を実践しながら学ぶ際の基本を学ぶ	2	レポート①	レポート①	授業態度
	5	1編 物質の科学	身近な存在の衣料や食品を化学の視点で理解する力を養うとともに興味を持って学ぶ意欲を身に付ける。さらに、探究活動を通して実験操作や考察の基本を身に付ける。	8	レポート②	レポート②	授業態度
	6				レポート③	レポート③	授業態度

		—中間調査—		1	定期調査	定期調査		
	7	2編 生命の科学	タンパク質や遺伝子免疫など現代社会で必須となる概念の理解を通して自らの生命現象について理解し、探究活動を通して実験操作や考察の基本を身に付ける。	8	レポート④	レポート④	授業態度	
	8					レポート⑤	レポート⑤	授業態度
	9					レポート⑥	レポート⑥	授業態度
		—期末調査—		1	定期調査	定期調査		
2	10	3編 光や熱の科学	光についての基本的性質を学び、科学技術を理解する上でも重要な電磁波について理解する。さらに、探究活動を通して実験操作や考察の基本を身に付ける。	8	レポート⑦	レポート⑦	授業態度	
	11					レポート⑧	レポート⑧	授業態度
						レポート⑨	レポート⑨	授業態度
	12	—中間調査—		1	定期調査	定期調査		
	1	4編 宇宙や地球の科学	人間生活へ大きな影響を与える太陽や月について、潮汐などの現象を通して理解する。さらに、太陽放射やそれによる地球大気の運動など身近な気象現象と結びつけ考える力を養う。さらに、データを収集して考察する方法など身に付ける。	8	レポート⑩	レポート⑩	授業態度	
						レポート⑪	レポート⑪	授業態度
						レポート⑫	レポート⑫	授業態度
	2	—期末調査—		1	定期調査	定期調査		
		まとめ	本科目の総括を行う。	1			授業態度	
備考				合計	39			

教科名	保健体育	科目名	体育	単数	2
対象学年	1年	一般通信	必修	選択必修・選択	
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	<p>○体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。</p> <p>○陸上競技 自己の能力に応じて記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ア 競走 イ 跳躍 ウ 投てき</p> <p>○球技 チームの課題や自己の能力に応じて次の運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。 ア) バスケットボール イ) サッカー ウ) バレーボール エ) 卓球 オ) バドミントン カ) ソフトボール</p> <p>○体育理論 運動やスポーツの合理的、計画的な実践や生涯にわたる豊かなスポーツライフを送る上で必要となるスポーツに関する科学的知識等を身につけさせる。</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。		
教科書、教材など	必要に応じて視聴覚教材				
授業形態	体づくり運動・体育理論・陸上競技については一斉授業とし、球技については選択授業とする。				

年間授業計画								
学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価			
					【知】	【思】	【態】	
1 学期	4	体づくり運動		7	○	○	○	
	5	球技	バスケットボール	10	○	○	○	
			バレーボール		○	○	○	
	6							
	7	陸上競技	競走	10	○	○	○	
跳躍			○		○	○		
投てき	○	○	○					
8	球技	サッカー	12	○	○	○		
		ソフトボール		○	○	○		
9								
2 学期	10	球技	バスケットボール	33	○	○	○	
			バレーボール		○	○	○	
	11		バドミントン		○	○	○	
	12	卓球	○	○	○			
	1							
	2	体育理論	スポーツの文化的特性と現代スポーツの発展	6	○	○	○	
			運動やスポーツの効果的な学習方法		○	○	○	
3	豊かなスポーツライフの設計	○	○		○			
備考			合計	78				

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	2
対象学年	1年	一般・通信	必修修・選択必修修・選択		
科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	<p>(1) 現代社会と健康</p> <p>我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が適切な生活行動を選択し実践すること及び環境を改善していく努力が重要であることを理解できるようにする。</p> <p>(2) 安全な社会生活</p> <p>私たちの周りには交通事故、自然災害、犯罪といった危険が多くある。これらの危険にどう対処していけば良いか、また安全安心な街づくりのためにどういう取り組みをすれば良いか理解し実践できるようにする。</p> <p>(3) 生涯を通じる健康</p> <p>生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性が理解できるようにする。</p> <p>(4) 健康を支える環境づくり</p> <p>社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の健康、労働と健康について理解できるようにする。</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】 健康・安全の意義を理解するとともに心身の機能の発達や心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し知識・技能を身につけている。	思考・判断・表現【思】 自他の心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断している。	主体的に学習に取り組む態度【態】 自他の心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。		
教科書、教材など	「高等学校 保健体育 Textbook」(第一学習社) 「高等学校 保健体育 Activity」(第一学習社)				
授業形態	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉授業 ・单元ごとにActivityを学習しながら、教科書の中身を発展させる。 ・視聴覚教材を使い、学習の理解を深める。 ・本課程は原則2年次と3年次が同一の選択群を履修する教育課程と 				

なっており1年次及び2年次保健を1単位ずつ配置した場合自動的に3年次も保健を履修せざるを得ない。つまり3年次のみが履修する1単位科目の設置、または3年次のみ1単位増加させた選択群の設置ができないことから保健を2カ年にわたり履修させることができない。よって1年間で2単位としている。

年間授業計画

学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	単 位	評 価		
					【知】	【思】	【態】
1 学 期	4	第1章 現代社会と健康	健康の考え方	1 9	○	○	○
	5				○	○	○
	6	1学期中間考査	現代の感染症とその予防 生活習慣病などの予防と回復 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	1	○	○	○
	7		精神疾患の予防と回復	1 8	○	○	○
	8	第2章 安全な社会づくり	安全な社会づくり 応急手当	1	○	○	○
	9	1学期末考査			○	○	○
2 学 期	10	第3章 生涯を通じる健康	生涯の各段階における健康 労働と健康	1 9	○	○	○
	11				○	○	○
	12	2学期中間考査	1	○			
	1	第4章 健康を支える環境 づくり	環境・食品と健康 保健・医療制度と機関	1 8	○	○	○
	2				○	○	○
	3	2学期末考査	1	○			
備考				合計	7 8		

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅠ	単数	3					
対象学年	1年	一般・通信	必修	選択必修修・選択						
科目の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと（五つの領域）の言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して情報や考え等を的確に理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。									
学習内容の概要	<p>1) 音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを言語活動を通して理解し、コミュニケーションにおいて活用できるスキルを身に付ける。</p> <p>2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を整理し、日常的・社会的な話題について考え、英語で表現したり、伝え合ったりする。</p> <p>3) 五つの領域別及び複数の領域の統合的な言語活動を行う。</p> <p>例) 聞き取った内容について話したり、書いたりして伝え合う。読んだ内容について話したり、書いたりして伝え合う。情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う。対話や説明などを聞いたり、読んだりして、賛成や反対の立場から理由や根拠とともに情報や考えを整理して発表したり、文章にしたりする。情報、考え、気持ちなどを理由や根拠をもとに書いて伝える。等</p>									
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】							
	音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを、使用する語句や文、情報量などについて多くの支援を活用して理解したり、やりとりしたり、聞いたり、読んだりすることが出来る。また、内容の概要や要点を捉える事が出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、自分なりの理由や根拠をもとに、考えや気持ちを話したり、書いたりして伝えることが出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちを積極的に話したり、書いたりして伝えようとする。また、読んだり、聞いたり、相手とやりとりした内容を理解し、不明な点について質疑応答することが出来る。							
教科書、教材など	Amity English Communication I（開隆堂）									
授業形態	一斉授業									
年間授業計画										
期	月	単元	学習内容（ねらい）	時	評価					
					【知】	【思】	【態】			
一学期 前期	4	GET READY 1～4	○言語材料：数字／文字／品詞 ○ねらい：地域での活動について短いやり取りが出来るようになる。	7	小テスト（各課末に50点満点の到達度確認テストを実施する。GET READY はLesson 1に含める。）	パフォーマンス課題（各課の題材についてのレポート制作や発表活動を行う。）	観察・ワークシート（各課のワークシートの取り組み具合を点検する。シャドウイング、音読等を含む）			
	5	Lesson 1 The Beautiful Scenery	○言語材料：be動詞・一般動詞の現在形 ○ねらい：お気に入りの場所について、理由を述べたり、説明出来るようになる。	11						
	6	Lesson 2 My Best Friend	○言語材料：be動詞・一般動詞の過去形 ○ねらい：大切な人について意見をまとめて発表出来るようになる。	11						
	※1学期中間考査	※中間評価面談（個別）		1				※到達度確認テストの合計を考查点に代える。		
	7	Lesson 3 Love for Dance	○言語材料：進行形／助動詞 ○ねらい：コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表出来るようになる。	11				小テスト（各課末に50点満点の到達度確認テストを実施する。）	パフォーマンス課題（各課の題材についてのレポート制作や発表活動を行う。）	観察・ワークシート（各課のワークシートの取り組み具合を点検する。シャドウイング、音読等を含む）

	8	FOCUS+1	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：好きなスポーツ選手や好きな有名人についてやり取りしたり、自己紹介が出来るようになる。	5	小テスト（各課末に50点満点の到達度確認テストを実施する。FOCUS+1はLesson4に含める。）	パフォーマンス課題（各課の題材についてのレポート制作や発表活動を行う。）	観察・ワークシート（各課のワークシートの取り組み具合を点検する。シャドウイング、音読等を含む）			
	9	Lesson 4 Endangered Species	○言語材料：不定詞 ○ねらい：動物についてやり取りしたり、好きな動物について発表出来るようになる。	12						
	※1学期期末考査		※期末評価面談（個別）					1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。	
二 学 期 ・ 後 期	10	Lesson 5 .The History of Chocolate	○言語材料：動名詞 ○ねらい：健康や余暇についてやり取りしたり、考えをまとめて発表出来るようになる。	9	小テスト（各課末に50点満点の到達度確認テストを実施する。FOCUS+2はLesson6に含める。）	パフォーマンス課題（各課の題材についてのレポート制作や発表活動を行う。）	観察・ワークシート（各課のワークシートの取り組み具合を点検する。シャドウイング、音読等を含む。COMMUNICATE+1の活動評価も含める。）			
		Lesson 6 Our School	○言語材料：比較（原級・比較級・最上級） ○ねらい：好きな教科等についてやり取りしたり、部活動等について発表出来るようになる。	9						
	11	FOCUS+2	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：好きな音楽や休日の過ごし方等についてやり取り出来るようになる。	2						
		COMMUNICATE+1	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：買物の場面で、客・店員それぞれの立場でやり取りすることが出来るようになる。	2						
	※2学期中間考査		※中間評価面談（個別）					1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。	
	12	Lesson 7 Serendipity	○言語材料：現在完了 ○ねらい：日常生活や経験等についてやり取りしたり、まとめて発表出来るようになる。	15				小テスト（2課毎末に50点満点の到達度確認テストを実施する。）	パフォーマンス課題（各課の題材についてのレポート制作や発表活動を行う。）	観察・ワークシート（各課のワークシートの取り組み具合を点検する。シャドウイング、音読等を含む）
	1	Lesson 8 Sapeurs	○言語材料：受動態 ○ねらい：服装等についてやり取りしたり、大切なものについて発表出来るようになる。							
		Lesson 9 Special Makeup Effects	○言語材料：分詞の形容詞的用法 ○ねらい：好きな映画等についてやり取りしたり、それらについて発表出来るようになる。							
		2	Lesson 10 Clean Water	○言語材料：関係代名詞 ○ねらい：平和に寄与した人等についてやり取りしたり、水について発表出来るようになる。				15		
	※2学期期末考査		※期末評価面談（個別）					1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。	
3		FOCUS+3	○言語材料：仮定法/ここまでの既習事項 ○ねらい：手紙やメール等についてやり取りしたり、与えられたテーマで意見を発表出来る。	2	小テスト（FOCUS+3の到達度確認テストを実施する。）	パフォーマンス課題（各課の題材についてのレポート制作や発表活動を行う。）	観察・ワークシート（各課のワークシートの取り組み具合を点検する。シャドウイング、音読等を含む。Communicate+2の活動評価も含む。）			
		COMMUNICATE+2	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：道案内の場面で、効果的にやり取りすることが出来るようになる。	2						
備考				合計	117					

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2
対象学年	1年	一般・通信	必修修・選択必修修・選択		
科目の目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>A 人の一生と家族・家庭及び福祉 B 衣食住の生活の自立と設計</p> <p>C 持続可能な消費生活・環境 D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		
教科書、教材など	教科書「家庭基礎 気づく力 築く未来」(実教出版)				
授業形態	一斉授業、実習				

年間授業計画

期	月	単元	学習内容	単	評価		
					【知】	【思】	【態】
1 学期 (前期)	4	第1章 これからの人生について 考えてみよう 1節 自分の未来予想図を描こう 2節 これからの人生をデザインする	・ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題を考える。 ・こんにちの社会背景を踏まえて、具体的に生涯にわたる生活設計を考える。	2	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	5	第2章 自分らしい生き方と家族 1節 自立と共生 2節 ライフキャリア 3節 共に生きる家族 4節 家族に関する法律	・これからの自分自身と社会のあり方を展望する。 ・働く意義とどのような仕事(職場)で働きたいと思うかを考える。 ・家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考える。 ・家族の抱える問題について学び、具体的なサポートのあり方について考える。	4	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	6	第3章 子どもとかかわる 1節 子どもとは 2節 子どもの発達 3節 子どもの生活 4節 子どもをはぐくむ 5節 子どものための社会福祉	・青年期の健康を学ぶことで、次世代を担う子どもを育て、はぐくんでいくことの責任感を養う。 ・子どものからだの成長のようすを学ぶ。 ・子どもの食生活・衣生活、安全管理について学び、子どもとかかわれるようにする。 ・絵本作りや読み聞かせを通して、子どもの遊びの意義や課題について考える。 ・子育てにかかわる社会的課題について知り、どのようなサポートが必要とされているのか考える。	10	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	7	1学期中間考査		1	筆記問題		
			第4章 高齢者とかかわる 1節 高齢社会に生きる 2節 高齢者を知る 3節 高齢者の自立を支える 4節 高齢社会を支えるしくみ	・高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる。 ・高齢者の生活場を体験する。 ・高齢期の生活を健康に過ごすための心がけについて考える。 ・介護をめぐる課題の解決にはどのようなことが	6	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート

2 学 期 (後 期)	8 9 10 11		必要か考える。				
		第5章 社会とかかわる 1節 支えあって生きる 2節 共生社会を生きる	・社会保障制度のしくみを踏まえて将来に向けての課題を考える。 ・暮らしの中の支えあいについて考える。	2	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	・生活をあらためて見直し、解決することを検討する。 ・具体的な解決方法を探り、実際に改善する。	1		ホームプロジェクト（夏休み課題）	ホームプロジェクト（夏休み課題）
		1学期期末考査		1	筆記問題		
		第6章 食生活をつくる 1節 日本の食文化の形成 2節 私たちの食生活 3節 栄養と食品のかかわり 4節 食品の選び方と安全 5節 食事の計画と調理 6節 これからの食生活を考える	・日本の食文化形成を知り、郷土料理について調べる。 ・食事調査を通して、各自の食生活の問題点に気づく。 ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食品衛生（食品の選択、食中毒、食品添加物）について学ぶ。 ・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。 ・環境に配慮した食生活（食品ロス等）について考える。	14	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート 調理実習レポート	観察 振り返りシート 調理実習レポート
		第7章 衣生活をつくる 1節 人と衣服のかかわり 2節 衣服の素材の種類と特徴 3節 衣服の選択から管理まで 4節 持続可能な衣生活をつくる 5節 衣服の構造・デザイン	・衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。 ・快適な衣服の特徴や機能について考える。 ・衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 ・環境に配慮した衣生活について世界の動向を学び、自分たちができることを考える。 ・衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。	12	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート 被服実習制作物	観察 振り返りシート 被服実習制作物
		2学期中間考査		1	筆記問題		
		第8章 住生活をつくる 1節 人間と住まい 2節 住まいの文化 3節 住まいを計画する 4節 健康に配慮した快適な室内環境 5節 安全な住まい 6節 持続可能な住まいづくり	・気候風土と住まいとの関係、そこでの人間の営みとの関係を考える。 ・和風木造住宅の空間的な特性や工夫をまとめる。 ・快適な住まい方を考え、平面計画を立てる。 ・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音、冷暖房などの要素を学ぶ。 ・災害情報の入手方法、安全への備えとして必要なことを考える。 ・住まいとエネルギー、まちづくりなどの観点から、持続可能な住まいとは何か考える。	10	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		第9章 消費行動を考える 1節 消費行動と意思決定 2節 消費生活の現状と課題 3節 消費者の権利と責任 4節 ライフスタイルと環境	・主体的な消費行動について多角的に考える。 ・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・消費者被害の事例を調べ、消費者の権利と責任を考える。 ・持続可能な社会の実現に向けた消費行動について考える。	6	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		第10章 経済的に自立する 1節 暮らしと経済 2節 将来のライフプランニング	・適切な家計管理について考える。 ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。	3	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	2学期期末考査		1	筆記問題			
	3 まとめ・復習	・これまでの学習内容を踏まえて、これからの自身の生活をよりよくするために大切なことは何か考える。	4	ワークシート	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート	
	備考		合計	78			

教科名	国語	科目名	国語表現	単位数	4		
対象学年	2、3年 F群	一般・通信	必履修・選択必履修	選択			
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。						
学習内容の概要	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>ア 目的や場に応じて、効果的に話したり聞き取ったりすること。</p> <p>イ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>ウ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>B 書くこと</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>ウ 優れた表現に接してその条件を考え、書いた文章について自己評価や相互評価を行い、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 文章の内容や表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>ウ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、作者の意図をとらえたりすること。</p> <p>エ 幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>						
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。				
教科書、教材など	○『国語表現』（大修館書店 国表701） ○授業用ワークシート						
授業形態	一斉授業 レポート提出						
年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	【第Ⅰ部】表現力を培う 1 言葉と出会う +実践トレーニング①	<ul style="list-style-type: none"> 表記・表現の基本を学ぶことで、決まりを意識し、適切に書くことを理解する。 1をもとに原稿用紙の使い方を理解する。 	3	WS	WS (1, 1, 1)	レポート
		2 伝える、伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介のやり取りから相互理解を図り、積極的にコミュニケーションに取り組む。 図や写真を見て相手に伝わる文章を書くために5W1Hを明確することが必要なことを理解する。 	3	WS	WS (1, 1, 1)	レポート
	5	3 小論文・レポート入門	<ul style="list-style-type: none"> 小論文の基本的な書き方を理解し、いろいろな体裁に対応して書く。 レポートの書き方を理解する。 	3	WS	WS (1, 1, 1)	レポート
	6						

		【1学期中間考査】		1	考査	考査	
	7	4 自己PRと面接 +実践トレーニング②	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見から、自分の長所を見つけ表現し、原稿を書く。 ・自分の将来や志望先について適切な方法で調べ、情報収集する。 ・適切な言葉遣いや態度で受け答えする。 ・志望先に提出する書類として適切である。 	3	WS	WS (1, 1, 1)	レポート
	8						
	9	5 メディアを駆使する	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な通信文の形式を知り、相手に応じた応答を理解する。 ・インターネットを活用する上での留意点・リテラシーを理解する。 ・メディアごとに伝達方法が異なることを理解する。 	3	WS	WS (1, 1, 1)	レポート
		6 会議・議論・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・話し合いに積極的に参加し、貢献する。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。 ・テーマに適切な資料・発表の準備をする。 	3	WS	WS (1, 1, 1)	レポート
		【1学期期末考査】		1	考査	考査	
		読書のひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・読書に興味を持ち、意欲的に取り組む。 	1		(0, 0, 1)	観察
2	10	【第Ⅱ部】表現を楽しむ					
		1 言葉で遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・【第Ⅰ部】で学習した内容を踏まえ、より発展的に活用できる。 	8	WS	WS (3, 3, 3)	レポート 観察
		2 無人島で生き残れ					
		3 日常生活の正しい過ごし方					
	11	4 魅力的なポスターを作ろう					
		5 「わがまち自慢」のパンフレットづくり					
		6 働く人にインタビュー					
		7 たほいやゲームをしよう					
	12	【2学期中間考査】		1	考査	考査	
		8 みんなで作ろう国語辞典		8	WS	WS (3, 2, 3)	レポート 観察
		9 「私の虫類図譜」を作ろう					
	1	10 エッセイを書こう					
		11 演説合戦にチャレンジ					
	2	12 こちら悩みごと相談室					
		13 開廷！模擬裁判					
	3	【2学期期末考査】		1	考査	考査 (12, 11, 13)	
備考				合計	39	評価欄記入のWSはワークシート	

教科名	国語	科目名	文学国語	単数	4
対象学年	2、3年 B群	一般・通信	必修・選択必修	選択	
科目の目標	近代以降のさまざまな文学作品を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し他者と意見交換することによって人生を豊かにする態度を育てる。				
学習内容の概要	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>ア 目的や場に応じて、効果的に話したり聞き取ったりすること。</p> <p>イ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>ウ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>B 書くこと</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>ウ 優れた表現に接してその条件を考え、書いた文章について自己評価や相互評価を行い、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 文章の内容や表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>ウ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、作者の意図をとらえたりすること。</p> <p>エ 幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。		
教科書、教材など	○『高等学校 標準文学国語』（第一学習社） ○授業用ワークシート				
授業形態	一斉授業				

年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	現代の小説(一) 調律師のるみ子さん デューク	・登場人物の関係から、主人公の心理の変化を読み取る。	1 2	小テスト	(2, 6, 4)	WS レポート
	5	現代の詩 生命は そこにひとつの席が 食事	・詩の構成や展開、比喩に注目して作者の意図を読み取る。	1 0	WS	WS (2, 4, 4)	レポート 観察
	6	現代の小説(二) 相棒 ナイン	・登場人物の心情と行動から人間関係を読み取る。	1 2	小テスト	WS (2, 6, 4)	レポート
		随想<芸術> 花のいざない 真珠の耳飾りの少女	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとくに、人間、社会、自然などに対する感覚を養う。	9	WS	WS (2, 5, 2)	
		【1学期中間考査】		1	考査	考査	
	7	近代の小説(一) 鼻 こころ	・内容、構成、展開や場面設定を捉え、解釈し、その多様性を考察する姿勢を養う。	1 2	小テスト	(4, 8, 0)	レポート
	8	戦争と文学(一) バグダッドの靴磨き わたしが一番きれいだったとき 死んだ男の残したものは 春-イラクの少女シャミラに	・構成の意図を考察し、主題を理解する。	1 2	小テスト	WS (2, 6, 4)	観察
	9	現代の小説(三) 旅する本 富嶽百景 【1学期期末考査】	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。	1 0	WS	WS (2, 6, 2)	レポート
				1	考査	考査	
2	10	近代の小説(二) 山月記 清兵衛と瓢箪	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を学ぶ。	1 2	WS	WS (2, 6, 4)	レポート
	11	近代の詩 こころ 汚れっちまった悲しみに…	・詩中の表現に注意しながら味わい、作者の思いに触れる。	8	WS	WS (3, 3, 2)	レポート 観察
	12	現代の小説(四) 卒業 ひよこの眼	・主人公の、人とかかわりの中で変化する心情を把握する。	1 2	WS	WS (2, 6, 4)	レポート
		戦争と文学(二) 血であがなったもの 夏の花 【2学期中間考査】	・構成の意図を考察し、主題を理解する。	1 2	小テスト	WS (2, 6, 4)	観察
				1	考査	考査	
	1	創作をする 物語を創造する	・文体、表現技法に注意しながら自らの感じ方、思い、考え方を表現する方法を学ぶとともに、言語文化の特質の理解を深める。	2 4		WS (6, 10, 8)	観察 レポート
	2	〈物語を発現する力〉 テーマを決めて短歌・俳句を作る 古典をもとにして物語を作る					
3	【2学期期末考査】	まとめ・復習	1 7	考査、	考査 (0, 0, 8) (31, 72, 50)	レポート	
備考			合計	156	評価欄中表記について WS：ワークシート レポート：パフォーマンス課題を含む		

教科名	国語	科目名	古典探究	単位数	3
対象学年	2、3年G群	一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。				
学習内容の概要	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを拡げたり深めたりすることができるようになる。</p> <p>(3) 言葉が持つ価値への認識を深めると共に、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けているとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを拡げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。		
教科書、教材など	○『高等学校 標準古典探究』(第一学習社) ○ワークシート ○適宜資料プリント ○古語辞典				
授業形態	一斉授業				

年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	説話(一)	・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確にとらえる。	5	小テスト	(0, 5, 0)	WS
		古文説話集 十訓抄					
	5	古今著聞集	・漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。	5	WS	WS	観察
		◇故事・寓話					
	6	随筆(一)	・作者の視点に気づき、構成や展開、内容を理解する。	7	小テスト	WS	観察
		徒然草 方丈記					
	7	◇三国志の世界	・史伝に触れ、構成や展開、内容を捉える。	7	WS	WS	(3, 4, 0)
		【1学期中間考査】					
	8	物語(一)	・物語のスタイルに注意しながら、構成や展開、内容を捉える。	7	小テスト	WS	(2, 5, 0)
		伊勢物語 竹取物語					
	9	◇漢詩の鑑賞	・表現・技法への理解を深め、古代中国人の思想を理解する。	6	小テスト	WS	WS・観察
		中国の詩 日本の詩					
10	説話(二)	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	5	小テスト	WS	WS・観察	
	沙石集 宇治拾遺物語						
11	◇不思議な世界	・古代中国人の想像力に触れる。	5	WS	WS	観察	
	随筆(二)						
12	枕草子	・作者がの視点を通して、当時のものの見方や考え方に触れる。	5	小テスト	WS	観察	
	◇逸話						
1	【1学期期末考査】	・作品の成立背景を理解する。	4	WS	WS	観察	
	和歌・俳諧						
2	万葉集 古今和歌集	・我が国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、鑑賞する。	8	WS	WS	WS・観察	
	新古今和歌集 春夏秋冬						
3	◇項羽と劉邦	・登場人物の心情変化を捉える。	7	WS	WS	(0, 7, 0)	
	説話(三)						
4	御伽草子 宇治拾遺物語	・昔話として現代まで継承される話を読み、登場人物の心情を読み取る。	5	小テスト	WS	観察	
	◇諸家の思想						
5	【2学期中間考査】	・中国古代理想を理解する。	5	WS	WS	(0, 5, 0)	
	物語(二)						
6	源氏物語 大鏡	・物語のスタイルに応じて、構成や展開、内容を捉える。	6	WS	WS	(2, 4, 0)	
	◇名家の文章						
7	日記	・文章の種類や文体に注意して、構成や展開、内容を捉える	6	WS	WS	(1, 2, 1)	
	蜻蛉日記 紫式部日記						
8	更級日記	・軍記物語を読み、登場人物の言動の背景にある思想を理解し、考えを深める。	6	WS	WS	(2, 4, 0)	
	物語(三)						
9	平家物語	・評論という文章の種類に注意して、構成や内容を捉える。	4	WS	WS	観察	
	評論						
10	無名草子 無名抄	まとめ・復習	1	考査	考査	(24, 69, 14)	
	玉勝間						
11	【2学期期末考査】	まとめ・復習	6	考査	考査	(24, 69, 14)	
	まとめ・復習						
備考	◇は漢文分野 評価欄中「WS」はワークシート		合計	117			

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	単数	4
対象学年	2、3年 B群	一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>				
学習内容の概要	<p>A・歴史の扉 B・近代化と私たち C・国際秩序の変化や大衆化と私たち D・グローバル化と私たち</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。		
教科書、教材など	『明解 歴史総合』(帝国書院)・授業プリント				
授業形態	一斉授業				

期	月	単元	学習内容 (ねらい)	曜日	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	各地域の諸文明 〔1部〕 歴史の扉 (1)歴史と私たち (2)歴史の特質と資料	世界の風土と前近代史を確認する。身近な事柄が歴史と結びつきを持っていることを理解する。歴史資料の読み取り方を身につける。 日本を含めた様々な国や地域の動向の比較や関連付けを行うことにより、工業化・交通手段などなどの進展、世界市場の形成について学び、アジア諸国の社会と経済の仕組みや欧米諸国との関係の変容について理解を深める。 20世紀の政治・社会・国際関係・大衆の変化等について、資料を活用して情報を読み取り活用する技能を習得し大衆化による社会や生活の変化について考察するための問いを表現する。また、これらのできごとにおける課題について、資料を活用して考察し、それらが現代的な諸課題の形成にどのようにかかわっているかを理解する。 グローバル化する世界の在り方について、資料を活用して、情報を読み取りまとめる技能を習得し、人々の生活や社会がグローバル化に伴い変化したことについて考察するための問いを表現する。 歴史的な見方や考え方を生かして、現代的な諸課題を考察する方法を理解する。また、現代的課題について歴史的な問いを立て、これまでの学習をもとに考察し、表現できるようにする。	10	定期考査 プリント 小テスト	ワーク シート	観察 ワーク シート
	5	近代化と私たち (1)近代化への問い		16	定期考査 プリント 小テスト	ワーク シート	観察 ワーク シート
	6	(2)結び付く世界と日本の開国 【定期考査】		17			
	7	(3)国民国家と明治維新 (4)近代化と現代的な諸課題		1			
	8	〔3部〕 国際秩序の変化や大衆化と		8	定期考査 プリント	ワーク シート	観察 ワーク
	9	私たち 【定期考査】		15	小テスト		シート
	10	(1)国際秩序の変化や大衆化への問い		1			
	11	(2)第一次世界大戦と大衆社会 (3)経済危機と第二次世界大戦 (4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 【定期考査】		16			
	12	〔4部〕 グローバル化と私たち		10	定期考査 プリント	ワーク シート	観察 ワーク
	1	(1)グローバル化への問い (2)冷戦と世界経済 【定期考査】		12	小テスト		シート
	2	(3)世界秩序の変容と日本 (4)現代的な諸課題の形成と展望		1			
	3	テーマ学習		16	プリント	ワーク シート 発表 レポート	観察 発表 レポート
備考			合計	156			

教科名	地理歴史	科目名	地域研究	単数	2
対象学年	2・3年 D群	一般・通信	必履修・選択必履修	選択	
科目の目標	地域に関する学習を通して、「鳥取県」や「鳥取県西部地区」について理解を深め、郷土に対する愛着や誇り、地域に貢献しようとする意欲の醸成を図る。また、地域の一員としての自覚をもち、地域が抱える問題を自ら選定し、その解決に向けて主体的に考察する態度と能力を育成する。				
学習内容の概要	(1) 鳥取県地誌 (2) 鳥取県西部地区の地誌 (3) 鳥取県及び鳥取県西部地区の諸課題と課題解決のための取組				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	地域の特色と諸課題を日本及び世界の諸課題と関連させながら理解しているとともに、調査や諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地域の地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地域に見られる諸課題の解決に向けて、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	国家及び社会の担い手として、よりよい地域社会の実現を視野に地域の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
教科書、教材など	自作ワークシート及びプリントなど				
授業形態	一斉授業				

期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	1 鳥取県の地誌	(1) 鳥取県の自然、歴史、産業、交通・観光、人口、文化 など	14	小テスト 定期考査	小テスト ワークシート	ワークシート 観察
	5		・地名の由来や新聞記事等、生徒の身近な地域に関わる事項を取り上げながら、地域への興味・関心を高める。	1			
	6						
	7	中間考査					
	8	2 鳥取県西部地区の地誌	(1) 鳥取県西部地区の市町村の自然、歴史、産業、交通・観光、人口、文化 など	24	小テスト 定期考査	小テスト ワークシート	ワークシート 観察
9		期末考査	1				
2	10	3 鳥取県及び鳥取県西部地区の諸課題と課題解決のための取組	(1) 地域の諸問題 (2) 課題の選定と課題解決のための取組 (3) まとめと発表	28	小テスト 定期考査 レポート	小テスト ワークシート レポート 発表	ワークシート 観察 レポート
	11		・学習活動が「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」という探究的な方法となるように取り組む。	1			
	12		・書物や新聞、インターネット等を活用し、生徒が主体的に情報を収集する。				
	1		・資料の作成、発表にはICTを積極的に利活用する。				
	2		期末考査	1	定期考査		
	3	4 まとめと整理	(1) まとめと整理	8			
備考			合計	78			

教科名	公民	科目名	公共	単数	3
対象学年	2年 C群	一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標	<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>				
学習内容の概要	<p>A・公共の扉 B・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち C・持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
教科書、教材など	『公共』(実教出版)・授業プリント				
授業形態	一斉授業				

期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価			
					【知】	【思】	【態】	
1	4	1・公共の扉 (倫理分野)	青年期や先人の思想、民主的な社会の在り方についての学習や話し合いなどの活動を通じて「公共」の授業において必要な基本的概念を身につける。	8	定期考査 復習 プリント	発表 ワーク シート	観察 発表 観察 観察 発表 観察 発表 観察 発表 観察	
		5		①社会をつくる私たち				
		6		②人間としてよく生きる ③他者とともに生きる				
	7	④民主社会の倫理 【定期考査】 (政治分野)	民主主義・法の支配など、民主政治の基本原則について理解する。	12 1	定期考査 復習 プリント	ワーク シート		
		7		⑤民主国家における 基本原理				
		8		2・よりよい社会の 形成に参加する 私たち 【現代の民主政治と 日本国憲法】				
	8	①日本国憲法の基本的 性格 【定期考査】	憲法の下、権利や自由が保障され、社会秩序が形成・維持されていることを理解する。平和主義・基本的人権について基本的な事項を理解する。	3 1	定期考査 復習 プリント	ワーク シート		
		9		②日本の政治機構と政治 参加				
		9		(経済分野) 【現代の経済社会と 国民生活】				
	2	10	①現代の経済社会 【定期考査】	経済分野の基本的事項について学習し 時事的な課題についても、理解を深める。	12	定期考査 復習 プリント		ワーク シート 発表
			11		②日本経済の特質と 国民生活			
		12	(国際分野) 【国際社会と人類の 課題】	前項で学習した内容をもとに、よりよい社会をつくるために解決すべき課題について考察を深め、表現する。	12	定期考査 復習 プリント		ワーク シート 発表
12			①国際政治の動向と課題 【定期考査】					
1		②国際経済の動向と課題	国際社会のありかたや、その中で日本の役割などについて学習し、理解を深める。	10 10	定期考査 復習 プリント	ワーク シート 発表		
		2	3・持続可能な社会 づくりの主体と なる私たち	これまでの学習した内容をもとに、社会の中で解決すべき課題について、各自が探究活動を行う。			11	レポート ワーク シート
3	テーマ学習	経済のグローバル化と相互依存関係の深まりの中で見られる諸問題について理解し、解決の方法について考えを深める。	6	レポート	レポート			
備考			合計	117				

教科名	公民	科目名	倫理	単数	2
対象学年	(2、)3年 H群	一般通信	必履修・選択必履修	選択	
科目の目標	<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。</p> <p>(3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。</p>				
学習内容の概要	<p>1 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方</p> <p>(1) 人間としての在り方生き方の自覚</p> <p>(2) 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>2 現代の諸課題と倫理</p> <p>(1) 自然や科学技術に関わる諸課題と倫理</p> <p>(2) 社会と文化に関わる諸課題と倫理</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりしている	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して、学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり、他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて、多面的・多角的に考察しようとしたりしている。		
教科書、教材など	『高等学校 倫理』(第一学習者)、授業プリント				
授業形態	一斉授業				

年間授業計画

学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価			
					【知】	【思】	【態】	
1	4	○第1編	第1編【第1章】・青年期の課題を踏まえ、人格、感情、認知、発達についての心理学の考えをもとに、様々な人間の心のあり方を理解する。 【第2章】・古代ギリシアの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、儒教などの中国思想をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。 【第3章】・人間の尊厳に関する思想について、代表的な先哲の思想を通して理解する。・人間は自然をどのように捉えてきたかを理解する。・社会契約の思想、人格の尊厳に関する思想、人倫の思想、功利主義の思想、社会の発展に関する思想、公共性に関する思想、プラグマティズムなどについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。 【第4章】・現象学、言語哲学、構造主義などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。・社会参加と奉仕の意義を理解し、社会参加の中にも生きがいがあることを理解する。 【第5章】・日本人の人間観、自然観、宗教観などと、古来の日本人の心情と考え方、外来思想の受容、国学や江戸時代の庶民の思想、西洋思想の受容との関係を理解する。	6	小テスト 定期考査	ワークシート	振り返りシート 観察	
		第1章 人間の心と自己形成						
		1 青年期の課題と自己形成						
		第2章 人間の存在や価値と宗教						
	5	1	ギリシアの思想	8	小テスト 定期考査	ワークシート	振り返りシート 観察	
		2	ユダヤ教とキリスト教					
	6	3	イスラーム	6	小テスト 定期考査	ワークシート	振り返りシート 観察	
		4	仏教					
	7	5	中国の思想	6	小テスト 定期考査	ワークシート	振り返りシート 観察	
		6	宗教や芸術					
	8	1	人間の尊厳	2	小テスト 定期考査	ワークシート	振り返りシート 観察	
		2	科学革命の時代と自然観					
9	3	自由で平等な社会の実現	1	小テスト 定期考査	ワークシート	振り返りシート 観察		
	4	人間性の回復と主体性の確立						
2	10	第4章 現代の人間と社会をとらえる思想	第2編【第1章】・生命、地球環境、科学技術との関わりにおいて、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。 【第2章】・福祉、文化と宗教、国際平和について倫理的課題を見だし、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の初回を探究する。	8	小テスト 定期考査	ワークシート	振り返りシート 観察	
		1						現代の思想と人間像
		2						生命への畏敬と社会参加
		第5章 国際社会に生きる日本人として自覚						
	11	1	日本固有の思想	7	小テスト 定期考査	ワークシート	振り返りシート 観察	
		2	外来思想					
	12	3	町人思想のめざめと庶民思想	7	小テスト 定期考査	ワークシート	振り返りシート 観察	
		4	西洋思想との出会い					
	1	2	○第2編	第2編【第1章】・生命、地球環境、科学技術との関わりにおいて、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の初回を探究する。	7	小テスト 定期考査	ワークシート	振り返りシート 観察
			第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理					
	2	第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理	1	小テスト 定期考査	ワークシート	振り返りシート 観察		
		3					テーマ学習	
備考			合計	78				

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	単位数	4
対象学年	2、3年 A群	一般通信	必履修・選択必履修	選択	
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分と積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>(1) 方程式・式と証明 式の計算、複素数と方程式、式と証明</p> <p>(2) 図形と方程式 点と直線、円、軌跡と方程式</p> <p>(3) 三角関数 三角関数、加法定理</p> <p>(4) 指数関数・対数関数 指数関数、対数関数</p> <p>(5) 微分法と積分法 微分係数と導関数、微分法の応用、積分法</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身につけている。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につけている。</p>		
教科書、教材など	『新編数学Ⅱ』(実教出版)				
授業形態	一斉授業				

年間授業計画

学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	曜日	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	1章 方程式・式と証明 1節 式の計算 1. 整式の乗法 2. 二項定理 3. 整式の除法 4. 分数式	・3次式の計算, 二項定理, 整式の除法, 分数式の四則について, 理解を深める。	10	小テスト	小テスト	観察 小テスト
	5	2節 複素数と方程式 1. 複素数 2. 2次方程式 3. 因数定理 4. 高次方程式	・方程式の解を発展的にとらえ, 数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解させる。また, 複素数の計算に習熟させる。 ・二次方程式の解と係数の関係を理解させ, 2次式を複素数の範囲で因数分解できるようにする。 ・剰余の定理・因数定理を理解させ, 高次方程式の解法に利用できるようにする。	16	小テスト	小テスト	小テスト
	6	3節 式と証明 1. 等式の証明 2. 不等式の証明	・代数的な教材を基にして論証について理解を深める。 ・等式や不等式を証明することの意味や方法についての理解させ, 数学的な考え方や論理的思考力を養う。	12	中間考査	中間考査	
	7	2章 図形と方程式 1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係	・点や直線の基本的な性質や関係を座標や式を用いて, 解析幾何的に考察し処理するとともに, その有用性を認識させる。	18			
	8	2節 円 1. 円の方程式 2. 円と直線	・座標や式を用いて, 円の基本的な性質を解析幾何的に考察し処理することのよさや有用性を認識させ, 軌跡の考察などに活用できるようにする。	9	小テスト	小テスト	小テスト
	9	3節 軌跡と領域 1. 軌跡と方程式 2. 不等式の表す領域 3. 連立不等式の表す領域	・等式や不等式を満たす値を座標とする点の集合と平面図形の関係について理解を深める。 不等式で表される条件を座標平面上に図示し, 図形的に考察できるようにする。	11	期末考査	期末考査	
	10	3章 三角関数 1節 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法 3. 三角関数 4. 三角関数の性質 5. 三角関数のグラフ 6. 三角関数と方程式・不等式	・三角関数について理解し, 関数についての理解を深め, それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。	14	小テスト	小テスト	小テスト
	11	2節 加法定理 1. 加法定理 2. 加法定理の応用	・加法定理について理解させ, 三角関数に関する方程式や最大, 最小について理解を深める。	10	小テスト	小テスト	小テスト
	12	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数	・指数を正の整数から有理数まで拡張し, それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。	10	中間考査	中間考査	
	2	12	2節 対数関数 1. 対数とその性質 2. 対数関数	・指数と対数の関係を理解させ, 対数の性質やグラフが具体的な事象の考察に活用できることを理解させる。	12	小テスト	小テスト
1		5章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. 接線の方程式	・具体的な事象の考察を通して, 微分係数や導関数, 接線などの微分の考えを理解させる。	10	小テスト	小テスト	小テスト
2		2節 微分法の応用 1. 関数の増減と極大・極小 2. 方程式・不等式への応用	・導関数の応用として, 関数の増加, 減少, 極値を調べ, そのグラフの概形を描くことや接線について理解させる。	10			
3		3節 積分法 1. 不定積分 2. 定積分 3. 定積分と面積	・微分の逆演算として不定積分を捉え, 関数の和, 差, 定数倍の不定積分や定積分の計算ができるようにする。 ・定積分と曲線で囲まれた面積の関係を導関数の定義を用いて考察し, 直線や放物線で囲まれた図形の面積を求めることができるようにする。	14	期末考査	期末考査	
		課題学習	1) 相加平均・相乗平均・調和平均 2) 紙パックの容積 3) 整数計画法 4) うなり				
備考			合計	156			

教科名	数学	科目名	数学A	単位数	2
対象学年	2、3年 H群	一般・通信	必履修・選択必履修	選択	
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 場合の数と確率、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>(1) 場合の数と確率 場合の数、確率</p> <p>(2) 図形の性質 三角形の性質、円の性質、作図、空間図形</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	<p>数学Aにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。</p>	<p>不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身につけることができる。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。</p> <p>また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>		
教科書、教材など	『高校数学A』(実教出版)				
授業形態	一斉授業				

年間授業計画

学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	1章 場合の数と確率 1節 場合の数	・集合の要素に関する基本的な関係や和の法則・積の法則について理解するとともに、具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求められるようにする。	18	小テスト	小テスト	観察 小テスト
	5	1. 集合と要素			小テスト		
	6	2. 集合の要素の個数			中間考査	中間考査	
	7	3. 場合の数			小テスト	小テスト	小テスト
	8	4. 順列			小テスト	小テスト	小テスト
	9	5. 組合せ	期末考査	期末考査			
	7	2節 確率	・確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いていろいろな事象の確率を求められるようにする。	18	小テスト	小テスト	小テスト
	8	1. 事象と確率			小テスト	小テスト	小テスト
	9	2. いろいろな事象の確率			小テスト	小テスト	小テスト
	10	3. 独立な試行とその確率			小テスト	小テスト	小テスト
11	4. 反復試行とその確率						
12	5. 条件つき確率						
10	6. 期待値						
2	10	2章 図形の性質 1節 三角形の性質	・三角形の角の2等分線と線分の比の関係や、三角形の外心・内心・重心について理解し、それらの性質を用いて線分の長さや角の大きさを求められるようにする。	14	小テスト	小テスト	小テスト
	11	1. 三角形の角			小テスト	小テスト	小テスト
	12	2. 三角形と線分の比			小テスト	小テスト	小テスト
	1	3. 三角形の外心・内心・重心					
	12	2節 円の性質	・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件、円の接線と接点を通る弦のなす角の性質、方べきの定理および2つの円の位置関係について理解し、それらを図形の性質の考察に活用できるようにする。	12	中間考査	中間考査	
	1	1. 円周角			小テスト	小テスト	小テスト
	2	2. 円と四角形					
3	3. 円の接線						
1	4. 方べきの定理						
2	5. 2つの円						
2	3節 作図	・垂直2等分線、垂線、角の2等分線、平行線、3等分する点が作図できるようにする。 ・三角形の外心・内心・重心が作図できるようにする。	9	小テスト	小テスト	小テスト	
3	1. 基本の作図			期末考査	期末考査		
3	2. いろいろな作図						
3	3. 三角形の外心・内心・重心の作図						
3	4節 空間図形	・空間における直線や平面の位置関係やつくる角についての理解を深められるようにする。 ・多面体に関する基本的な性質を理解する。	7				
3	1. 空間における直線と平面						
3	2. 多面体						
備考			合計	78			

教科名	数学	科目名	数学B	単位数	2
対象学年	2、3年 D群	一般・通信	必修・選択必修	選択	
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>(1) 数列 数列とその和、いろいろな数列、漸化式と数学的帰納法</p> <p>(2) 統計的な推測 確率変数と確率分布、正規分布、統計的な推測</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	数学Bにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。		
教科書、教材など	『高校数学B』(実教出版)				
授業形態	一斉授業				

年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	1章 数列	<ul style="list-style-type: none"> ・数列, 等差数列, 等比数列について理解し, その一般項を求めることを学ぶ。 ・等差数列や等比数列について, その和の求め方を学ぶ。 	15	小テスト	小テスト	観察 小テスト
	5	1節 数列とその和					
	6	1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等比数列					
	7	2節 いろいろな数列	<ul style="list-style-type: none"> ・Σ記号の使い方や表し方について学び, Σの性質を用いて自然数の和や自然数の2乗の和, いろいろな数列の和を求められるようにする。 ・階差数列について理解し, 階差数列を用いて数列の一般項を求める方法を学ぶ。 	13	小テスト	中間考査	中間考査
	8	1. 和を表す記号 2. 階差数列					
	9	3節 漸化式と数学的帰納法					
	10	1. 漸化式 2. 数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・漸化式について理解し, 初項の値と漸化式から数列の一般項を求める方法を学ぶ。 ・数学的帰納法を用いた等式の証明の仕方を学ぶ。 	10	小テスト	小テスト	小テスト
	11	2章 統計的な推測					
	12	1節 確率変数と確率分布					
2	1	1. 確率とその基本性質 2. 確率変数と確率分布 3. 二項分布	<ul style="list-style-type: none"> ・確率変数とその分布について理解し, それらを不特定な事象の考察に活用できるようにする。 	14	小テスト	小テスト	小テスト
	2	2節 正規分布					
	3	1. 確率密度関数 2. 正規分布 3. 二項分布と正規分布					
	1	3節 統計的な推測	<ul style="list-style-type: none"> ・推測統計の基本を学び, 標本から母集団の性質を考察できるようにする。 	14	小テスト	小テスト	小テスト
	2	1. 母集団と標本 2. 標本平均の分布 3. 母平均の推定 4. 仮説検定					
	3						
備考				合計	78		

教科名	理科	科目名	物理基礎	単数	4
対象学年	2、3年 A群	一般・通信	必修	選択必修	選択
科目の目標	<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>(1) 物体の運動とエネルギー</p> <p>(2) 様々な物理現象とエネルギーの利用</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身についている。	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行う中で、観察、実験などを通して探究する力を身につけており、その結果を用いて考察し、表現できる。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的にかかわり、科学的に探求しようとしている。		
教科書、教材など	『新編 物理基礎』(数研出版), 授業プリント, 感想・質問用紙				
授業形態	一斉授業				

年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	物理量の扱い方	測定結果の誤差, 有効数字について正しく扱えるようになる。	2		小テスト	出席シート、授業態度
		第1編 運動とエネルギー					
		1章 運動の表し方	等速直線運動や等加速度直線運動などの基本的な運動の様子について計算し、説明できる。	25	小テスト、実験観察	小テスト、実験用紙	出席シート、授業態度
	5	2章 運動の法則	身近な現象ではたらいている力について理解する。力が運動に及ぼす影響について理解し、観察・実験で得られた結果を説明できる。	32	小テスト、実験観察	小テスト、実験用紙	出席シート、授業態度
	6						
	7	—中間考査—		1	考査	考査	
	8	3章 仕事と力学的エネルギー	仕事と力学的エネルギーやこれらの関係性について理解し、観察実験で得られた結果を説明できる。	18	小テスト、実験観察	小テスト、実験用紙	出席シート、授業態度
	9	—期末考査—		1	考査	考査	

2	10	第2編 熱 1章 熱とエネルギー	物体のもつ熱の大きさや温度の示し方などについて理解し、観察実験で得られた結果を説明できる。	11	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験観察	出席シート、 授業態度
		第3編 波 1章 波の性質	波の伝わり方や性質について理解し、観察実験で得られた結果を説明できる。	14	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験観察	出席シート、 授業態度
	11	2章 音	音の性質や発音体の振動、共振・共鳴について理解し、観察実験で得られた結果を説明できる。	14	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験観察	出席シート、 授業態度
		—中間考査—		1	考査	考査	
	12	第4編 電気 1章 物質と電気抵抗	電流の流れ方や電流による発熱について理解し、観察実験で得られた結果を説明できる。	9	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験観察	出席シート、 授業態度
		2章 磁場と交流	磁場と電流の関係などについて理解し、観察実験で得られた結果を説明できる。	9	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験観察	出席シート、 授業態度
	1	第5編 物理と社会 1章 エネルギーの利用	エネルギー保存の法則や核反応について理解し、日常生活の中でのエネルギーに関する課題について考察する。	10	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験観察	出席シート、 授業態度
	2	—期末考査— 物理学が拓く世界	本科目におけるまとめとして、身近な科学技術に応用されている物理学について触れ、科学的視点の育成を図る。	1 8	考査	考査	
	備考	このほか、夏季休業期間に生徒自身で課題を設定し、自身での実験や論文等の引用によって課題解決を目指すパフォーマンス課題を出題する。		合計	156		

教科名	理科	科目名	化学基礎	単位数	3
対象学年	2、3年 C群	一般・通信	必履修	選択必履修	選択
科目の目標	<p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>(1) 化学と人間生活</p> <p>(2) 物質の構成</p> <p>(3) 物質の変化とその利用</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化に関する観察、実験などを行う中で、観察、実験などを通して探究する力を身につけており、その結果を用いて考察し、表現できる。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
教科書、教材など	『新編 化学基礎』(数研出版)、授業プリント、感想・質問用紙				
授業形態	一斉授業				

学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	序章 化学の特徴		1			出席シート、授業態度
	5	第1編 物質の構成と化学反応					
		第1章 物質の構成	世の中に存在する物質を分類する上での考え方や物質の分離方法について理解するとともに、与えられた物質を分類する方法として適するものが何か考える。	19	小テスト、実験観察	小テスト、実験用紙	出席シート、授業態度、実験用紙
		第2章 物質の構成粒子	原子の構造や同位体、価電子、イオンについて理解するとともに、周期表をもとに原子の電気的性質について考察できる。	19	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
	7	—中間考査—		1	考査	考査	
8	第3章 粒子の結合	イオン結合や共有結合、金属結合といった化学的な結合や化学的な結	17	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度	

	9		合によってできる粒子の特徴について理解するとともに、与えられた物質どうしがどのように結合するか考察する。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		—期末考査—		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	10	第2編 物質の変化 第1章 物質量と 化学反応式	化学反応が起こる際の粒子の変化について理解するとともに、物質の変化について化学反応式や物質量を用いて表現することができる。	16	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	16	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	16	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	出席シート、 授業態度
	11	第2章 酸と塩基の 反応	酸・塩基の性質について理解するとともに、実験によって得られた結果から溶液のpHや溶液中のイオン濃度の変化に関する考察を行う。	16	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	16	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	16	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	出席シート、 授業態度
		—中間考査—		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	12	第3章 酸化還元 反応	物質の酸化還元反応やイオン化傾向について理解するとともに、電池や金属の製錬などの我々の生活に関与する酸化還元反応の活用法について触れることで日常生活での科学的視点の育成を図る。	15	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	15	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	15	小テスト、 実験観察	小テスト、 実験用紙	出席シート、 授業態度
	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	2	—期末考査— まとめ・復習	1年間の学習を振り返る。また、学んだことをもとに身近な現象について考察するなど主体的に探求する力を身につける。	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
備考		このほか、夏季休業期間に生徒自身で課題を設定し、自身での実験や論文等の引用によって課題解決を目指すパフォーマンス課題を出題する。	合計	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2
対象学年	2、3年 D群	一般・通信	必履修・ <u>選択必履修</u> ・選択		
科目の目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>(1) 生物の特徴</p> <p>(2) ヒトの体の調節</p> <p>(3) 生物の多様性と生態系</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解しており、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象について、観察、実験などを通して探究する力を身につけており、その結果を用いて考察、表現できる。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしているとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。		
教科書、教材など	『新編 生物基礎』（数研出版）、授業プリント、感想・質問用紙				
授業形態	一斉授業				

学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	巻頭特集・序章	本科目での学習の目的を示して科学的探究心を育成するとともに、顕微鏡の操作方法について確認する。	1	小テスト		出席シート、授業態度
	5	第1章 生物の特徴	生物どうしの共通性や多様性、細胞のすがたやその機能、代謝について理解し、説明する。	12	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
		第2章 遺伝子とそのはたらき					
	6	第1節 遺伝情報とDNA	DNAの構造について理解し、生物の多様性と塩基配列の多様性との関係について考察する。	4	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
		—中間考査—		1	○	○	
		第2節 遺伝情報の複製と分配	生物のDNAのふえ方や遺伝情報の発現について理解するとともに、	11	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度

	7	第3節 遺伝情報の発現	これらの現象の意義について考察し、説明する。				
	8	第3章 ヒトの体内環境の維持					
	8	第1節 体内での情報伝達と調節	神経系や内分泌系を介した体内での情報伝達について理解し、身体内の変化に対してどのような調節経路がはたらくか考察して説明できる。	6	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
	9	—期末考査—		1	考査	考査	
		第2節 体内環境の維持の仕組み	体内環境の恒常性について理解するとともに、血糖濃度の調節、血液凝固の様子を説明できる。	3	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
2	10	第3章 ヒトの体内環境の維持					
		第3節 免疫のはたらき	免疫機能の概要、免疫機能の低下時や免疫機能の過剰反応時にどのような影響がヒトのからだに発生するのか理解するとともに、身体内に異物が侵入したときにどのように免疫反応がはたらくのか説明できる。	10	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
		第4章 生物の多様性と生態系					
		第1節 植生と遷移	植生の種類やその変化の様子について理解し、説明する。	4	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
	11	—中間考査—		1	考査	考査	
	12	第2節 植生の分布とバイオーム	バイオームの分布、生態系とその内部の相互関係について理解するとともに、人間の活動によって生態系や環境へどのような影響を及ぼすか考え、環境や生態系の保全に向けてどのような働きかけが必要か考察する。	18	小テスト	小テスト	出席シート、授業態度
	1	第3節 生態系と生物の多様性					
		第4節 生態系のバランスと保全					
	2	—期末考査—		1	考査	考査	
		まとめ・復習		5			
備考		このほか、夏季休業期間に生徒自身で課題を設定し、自身での実験や論文等の引用によって課題解決を目指すパフォーマンス課題を出題する。		合計	78		

教科名	理科	科目名	地学基礎	単数	4
対象学年	2、3年 E群	一般・通信	必履修	選択必履修	選択
科目の目標	<p>地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>(1) 地球のすがた</p> <p>(2) 変動する地球</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うことができるとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現できる。	地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。		
教科書、教材など	『高等学校 地学基礎』(第一学習社)、授業プリント、レポート				
授業形態	一斉授業				

学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	第1章 地球のすがた 第1節 地球の外観	測定結果から地球のかたちや大きさ、構造に関する考察を行い、理解を深める。	3	レポート	レポート	授業態度
		第2節 プレートの運動	プレートの分布と地表で発生する自然現象の分布を比較して考察し、プレートテクトニクスについて理解する。	3	レポート	レポート	授業態度
	5	第2章 地球の活動 第1節 地震	地震に関する測定結果や地震によって生じた影響の事例を観察し、地震に関する理解を深める。	2	レポート	レポート	授業態度
		—中間考査—		1	考査	考査	

	7	第2節 火山活動	火山活動に関する現象やその影響について理解するとともに、学習した知識をもとに自身の身の回りの地形や岩石のなりたちについて説明する。	3	レポート	レポート	授業態度
	8	第3章 大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支	大気のすがたや構造、大気にまつわる自然現象について理解するとともに、地球内外でのエネルギーのやり取りについて説明する。	3	レポート	レポート	授業態度
	9	第2節 大気と海水の運動	大気や海水の循環について理解するとともに、それらによるエネルギーの移動について考察し、説明する。	2	レポート	レポート	授業態度
		—期末考査—		1	考査	考査	
2	10	第4章 宇宙と地球 第1節 宇宙と太陽の誕生	宇宙と太陽のすがたやその成り立ちについて理解し、説明する。	3	レポート	レポート	授業態度
	11	第2節 太陽系と地球の誕生	太陽系やその周辺に存在する天体について理解し、その性質や特徴を説明する。	3	レポート	レポート	授業態度
	12	第5章 生物の変遷と地球環境 第1節 地層と化石	地層のすがたとその成り立ちについて理解するとともに、地層に保存されている情報から地層が形成された際の地球の様子について考察する。	3	レポート	レポート	授業態度
		—中間考査—		1	考査	考査	
	1	第2節 地球と生物の変遷	過去地球に存在した生物の化石を観察してその特徴を理解するとともに、化石の特徴を比較することで各地質時代の地球の様子を考察する。	3	レポート	レポート	授業態度
		第6章 地球の環境 第1節 地球と科学	近年の地球上における環境問題について理解し、それらの環境問題の対策について考察し、説明する。	3	レポート	レポート	授業態度
		第2節 日本の自然環境	地球の活動に伴う日本での人間の活動に対する恩恵や災害について理解し、これらの現象の利用方法や対策の方法について考察し、説明できる。	3	レポート	レポート	授業態度
	2	—期末考査— まとめ	本科目の総括を行う。	1 1	考査	考査	授業態度
備考			合計	39			

教科名	保健体育	科目名	体育	単数	3
対象学年	2年3年	一般通信	必履修・選択必履修・選択		
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	<p>○体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。</p> <p>○陸上競技 自己の能力に応じて記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ア 競走 イ 跳躍 ウ 投てき</p> <p>○球技 チームの課題や自己の能力に応じて次の運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。 ア) バasketボール イ) サッカー ウ) バレーボール エ) 卓球 オ) バドミントン カ) ソフトボール</p> <p>○体育理論 運動やスポーツの合理的、計画的な実践や生涯にわたる豊かなスポーツライフを送る上で必要となるスポーツに関する科学的知識等を身につけさせる。</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。		
教科書、教材など	必要に応じて視聴覚教材				
授業形態	体づくり運動・体育理論・陸上競技については一斉授業とし、球技				

については選択授業とする。

年間授業計画

学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価			
					【知】	【思】	【態】	
1 学期	4	体づくり運動		10	○	○	○	
	5	球技	バスケットボール バレーボール	18	○	○	○	
					○	○	○	
	6							
	7	陸上競技	競走 跳躍 投てき	12	○	○	○	
○					○	○		
8	球技	サッカー ソフトボール	22	○	○	○		
9				○	○	○		
2 学期	10	選択球技	バスケットボール バレーボール	49	○	○	○	
					○	○	○	
					○	○	○	
	11		バドミントン 卓球		○	○	○	
	12				○	○	○	
	1							
	2	体育理論	スポーツの文化的特性と現代スポーツの発展 運動やスポーツの効果的な学習方法 豊かなスポーツライフの設計	6	○	○	○	
3	○				○	○		
備考				合計	117			

教科名	保健体育	科目名	保健	単数	4
対象学年	2・3年 F群	一般・通信	必履修	選択必履修	選択
科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	<p>(1) 現代社会と健康</p> <p>我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が適切な生活行動を選択し実践すること及び環境を改善していく努力が重要であることを理解できるようにする。</p> <p>(2) 安全な社会生活</p> <p>我々の生活の中にはいろいろな健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があることを理解する。</p> <p>(3) 生涯を通じる健康</p> <p>生涯の各段階において健康についての課題がある。また、健康で充実した労働条件を作るにはどのようにすればよいかを理解する。</p> <p>(4) 健康を支える環境づくり</p> <p>自然環境問題の実態を知り自分にできることを考える。また、我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性を理解できるようにする。</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】 健康・安全の意義を理解するとともに心身の機能の発達や心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し知識・技能を身につけている。	思考・判断・表現【思】 自他の心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断している。	主体的に学習に取り組む態度【態】 自他の心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。		
教科書、教材など	「高等学校 保健体育 Textbook」(第一学習社)				
授業形態	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉授業 ・单元ごとにプリント(学習ノート)を埋めながら、教科書の中身を発展させる。 ・視聴覚教材を使い、学習の理解を深める。 				

年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1 学期	4	第1章 現代社会と健康	健康の考え方	9	○	○	○
	5		現代の感染症とその予防		○	○	○
	6		生活習慣病などの予防と回復		○	○	○
		1学期中間考査		1	○		
	7	第2章 安全な社会づくり	精神疾患の予防と回復	9	○	○	○
	8		安全な社会づくり		○	○	○
	9		応急手当		○	○	○
		1学期末考査		1	○		
	2 学期	10	第3章 生涯を通じる健康	生涯の各段階における健康	8	○	○
11		労働と健康			○	○	○
		2学期中間考査		1	○		
12		第4章 健康を支える環境 づくり	環境・食品と健康 保健・医療制度と機関	9	○	○	○
1					○	○	○
		2学期末考査		1	○		
	3						
備考				合計	39		

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅰ	単数	4
対象学年	2、3年 E群	一般・通信	必修	選択必修	選択
科目の目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>A 表現 (1) 歌唱 (2) 器楽 (3) 創作</p> <p>B 鑑賞 [共通事項]</p> <p>表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。</p> <p>イ 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	<p>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。</p> <p>・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>		
教科書、教材など	『MOUSA 1』 (教育芸術社)、DVD等の視聴覚教材				
授業形態	一斉授業・グループ学習・個別指導				

年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	歌唱①	発声の基礎を学ぶ。 歌う姿勢・呼吸・共鳴を意識した歌唱を目指す。	3	レポート		観察
		歌唱②	歌詞及び旋律を歌唱表現に生かす。 斉唱や重唱により、歌詞と旋律や曲調との結びつきを考える。	2		ワークシート	観察
	5	アンサンブル①	リズムと拍子の特徴、楽曲を特徴づけている要素を生かして表現する。	2		レポート	観察
		歌唱③ 鑑賞①	音楽的諸要素を歌唱表現に生かす。 世界の音楽を知り、曲種に応じた発声や器楽の多様な表現を味わう。 イタリア歌曲・器楽曲に親しむ。	3	レポート		観察
	7	歌唱④	—中間審査— 旋律のかけ合いを味わう。 重唱や合唱により、各パートのかけ合い部分の効果的な演奏方法を学ぶ。	1 2	定期審査	定期審査 レポート	観察
		8	創作① 器楽①	8小節の旋律に歌詞をつける。 ギターの基礎知識と演奏の基本を学ぶ。 ギターの各部位の名称、演奏する姿勢、運指、アポヤンド奏法を知る。	2 2	ワークシート レポート	
	9	器楽② 鑑賞② 歌唱⑤	—期末審査— 旋律以外のパートの役割を知る。 楽曲の構成を知り、各パートの役割について考える。ヴォーカルアンサンブルを鑑賞し平易な楽曲に挑戦する。	1 2	定期審査 レポート	定期審査	観察
		10	鑑賞③ 器楽③	ミュージカル独特の雰囲気味わう。 ミュージカルの鑑賞を行う。 鍵盤楽器や打楽器の奏法を習得する。	4 2	ワークシート レポート	
	11		創作② アンサンブル② 鑑賞④	平易な器楽合奏曲を演奏する。 リズムアンサンブルの構成を工夫する。 リズムアンサンブルを創作し発表する。 様々なアンサンブル曲を味わう。 様々な表現形態の魅力とアンサンブルをすすめる上のポイントを知る。	1 2 1	ワークシート	
		12	器楽④ 創作③ 歌唱⑥	美しい演奏表現を求める。 フレーズや曲想が伝わる演奏表現をする。 日本歌曲に親しむ。	6 1 2	定期審査 発表 レポート	定期審査 発表
	2 3		鑑賞⑤	—期末審査— 日本の伝統楽器・民族楽器の演奏を味わう。 伝統楽器・民族楽器による音楽を知る。 —まとめ—		レポート	定期審査
	備考			合計	39		

教科名	芸術	科目名	書道 I	単位数	4
対象学年	2、3年 E群	一般・通信	必履修・ <u>選択必履修</u> ・選択		
科目の目標	<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>1 表現</p> <p>(1) 漢字仮名交じりの書</p> <p>(2) 漢字の書</p> <p>(3) 仮名の書</p> <p>2 鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	<p>書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。</p> <p>書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身につけ、表している。</p>	<p>書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。</p>	<p>主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。</p>		
教科書、教材など	『書 I』・『書 I プライマリーブック』（教育図書）				
授業形態	一斉授業・個別指導				

年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	書へのいざない	・漢字の書体の変遷と、仮名の誕生について理解する。 ・姿勢や執筆など、書の基本を身に付ける。	2	レポート	レポート	観察
	5	鑑賞へのいざない	・書のさまざまな鑑賞形式に触れる。	2	レポート	レポート	ワークシート
		楷書	・楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の相違を感得する。	5	レポート	レポート 作品提出	観察
	6	【定期考査】	・隋・唐の書の文化について知る。	1	レポート	レポート	
		行書	・行書の特徴を理解し、行書古典の書風の相違を感得する。	5	レポート	レポート	観察
	7				レポート	レポート	
	8	【定期考査】		1	レポート	レポート 作品提出	
	9	草書	・草書の生まれた背景を知り、特徴を理解する。	4		レポート 作品提出	観察
	2	10	隸書	・隸書の生まれた背景を知り、特徴を理解する。	3	レポート	レポート 作品提出
11		篆書	・篆書の生まれた背景を知り、特徴を理解する。 ・篆刻の基本を知り、自分を表す印を作成する。	4	レポート	レポート 作品提出	観察
		【定期考査】		1	レポート	レポート	
12		仮名の書	・仮名の生まれた背景と変遷を理解する。仮名の基本用筆を学ぶ。 ・平仮名、変体仮名を学ぶ。	4	レポート	レポート 作品提出	観察
1					レポート	レポート 作品提出	
2		漢字仮名交じりの書	・漢字と仮名による日本語表記とその変遷を知る。	4		レポート 作品提出	観察
3		【定期考査】	・生活の中の書を心を込めて書く。	1			
		鑑賞へのいざない	・自分と書との関わりに関心を持つ。	2			ワークシート
備考				合計	39		

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4		
対象学年	2・3年次		一般・通信	必修・選択必修・選択			
科目の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと（五つの領域）の言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して情報や考え等を的確に理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。また、外国語の背景にある文化についての理解を深め、伝える相手に配慮しながら、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。						
学習内容の概要	<p>1) 音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを言語活動を通して理解し、コミュニケーションにおいて活用できるスキルを身に付ける。</p> <p>2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を整理し、日常的・社会的な話題について考え、英語で表現したり、伝え合ったりする。</p> <p>3) 五つの領域別及び複数の領域の統合的な言語活動を行う。その際に、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮し</p> <p>一定の支援を活用しながら、主体的に取り組む態度を示す。</p> <p>例) 聞き取った内容について話したり、書いたりして伝え合う。読んだ内容について話したり、書いたりして伝え合う。情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う。対話や説明などを聞いたり、読んだりして、賛成や反対の立場から理由や根拠とともに情報や考えを整理して、説明や討論をしたり、意見交換したりする。情報、考え、気持ちなどを理由や根拠をもとに書いて伝える。等</p>						
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
	音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを、使用する語句や文、情報量などについて多くの支援を活用して理解したり、やりとりしたり、聞いたり、読んだりすることが出来る。また、外国の文化についての知識を基にして、内容の概要や要点、詳細を捉える事が出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しつつ、客観的且つ説得力のある理由や根拠をもとに、考えを話したり、書いたりして伝えることが出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しつつ、自分の考えを積極的に話したり、書いたりして効果的に伝えようとする。また、読んだり、聞いたり、相手とやりとりした内容を理解し、不明な点について質疑応答することが出来る。				
教科書、教材など	Amity English Communication II（開隆堂）						
授業形態	一斉授業						
年間授業計画							
期	月	単元	学習内容（ねらい）	時	評価		
					【知】	【思】	【態】
一学期・前期	4	GET READY 1~4	○言語材料：5文型など ○ねらい：説明する、報告する、描写するなどに必要な基本的な既習表現を復習する。	6	小テスト（各課末に50点満点の到達度確認テストを実施する。GET READY1~4はLesson 1に含める。）	パフォーマンス課題（各課の題材についてのレポート制作や発表活動を行う。）	観察・ワークシート（各課のワークシートの取り組み具合を点検する。シャドウイング、音読等を含む）
		Lesson 1	○言語材料：be動詞・一般動詞の現在形・助動詞	10			
	5	Okinawa	○ねらい：沖縄についてやり取りしたり、訪れてみたい観光地について紹介したりできるようになる。				
		Lesson 2	○言語材料：be動詞・一般動詞の過去形・動名詞	11			
	6	The History of Japanese Food	○ねらい：食事についてやり取りしたり、友達が好きな食べ物について紹介したりできるようになる。				
		※1学期中間考査	※中間評価面談（個別）	1	※到達度確認テストの合計を考査点に代える。		
	7	Lesson 3 Volunteer Work	○言語材料：不定詞・受動態 ○ねらい：ボランティアについてやり取りしたり、参加してみたいボランティア活動について書くことができるようになる。	30	小テスト（2課毎に50点満点の到達度確認テストを実施する	パフォーマンス課題（各課の題材についてのレポート制作や発	観察・ワークシート（各課のワークシートの取
8							

	9	Lesson 4 Gacha-gacha	○言語材料：第4・5文型 ○ねらい：ガチャガチャの景品についてやり取りしたり、景品だったらうれしい物について説明できるようになる。		。Lesson5なら びに1学期既習 事項の復習を合 わせて50点満 点の到達度確認 テストを実施す る。)	表活動を行う。	検する。シャド ウイング、音読 等を含む。)
		Lesson 5 Interesting Aquariums	○言語材料：不定詞（形式主語など） ○ねらい：水族館についてやり取りしたり、水族館と動物園のどちらが好きか説明できるようになる。	20			
		1学期既習事項の復習	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：語彙・文法を中心に既習事項について問題演習等とおして復習する。				
		※1学期期末考査	※期末評価面談（個別）	1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。		
二 学 期 ・ 後 期	10	Lesson 6 The Relay of Ahmed's Life	○言語材料：知覚動詞・使役動詞 ○ねらい：将来の夢についてやり取りしたり、パレスチナとイスラエルの問題について発表できるようになる。	18	小テスト（各課 末に50点満点 の到達度確認テ ストを実施する 。FOCUS+1はL esson7に含める 。）	パフォーマンス 課題（各課の題 材についてのレ ポート制作や発 表活動を行う。 ）	観察・ワークシ ート（各課のワ ークシートの取 り組み具合を点 検する。シャド ウイング、音読 等を含む。COMM UNICATE+1の活 動評価を含める 。）
	11	Communicate+ 1	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：電話やメールで友人を買い物に誘う場面のやり取りできるようになる。				
	12	Lesson 7 Artificial Intelligence	○言語材料：接続詞・前置詞 ○ねらい：AIについてやり取りしたり、理想のAIロボットについて視覚資料を用いて説明できるようになる。	18			
	1	Focus+ 1	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：校則について話し合ったり、現在完了のイメージを理解することができるようになる。				
		※2学期中間考査	※中間評価面談（個別）	1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。		
		Lesson 8 Mystery of Colors	○言語材料：現在完了・現在完了進行形 ○ねらい：好きな色について説明できるようになる。	12	小テスト（2課 毎に50点満点 の到達度確認テ ストを実施する 。Lesson12はパ フォーマンス課 題にて評価する のでテストは実 施しない。）	パフォーマンス 課題（各課の題 材についてのレ ポート制作や発 表活動を行う。 Lesson12の題材 についてエッセ イを書く。）	観察・ワークシ ート（各課のワ ークシートの取 り組み具合を点 検する。シャド ウイング、音読 等を含む。)
		Lesson 9 Street Performers	○言語材料：分詞（形容詞的用法）・分詞構文 ○ねらい：好きなアーティストについて書くことができるようになる。				
		Lesson 10 The Culture of Selfies	○言語材料：関係代名詞（非制限用法） ○ねらい：お気に入りのセルフ写真を用いて、好きな理由を含め、その写真の説明ができるようになる。	12			
	2	Lesson 11 Finland	○言語材料：関係副詞 ○ねらい：フィンランドの魅力について紹介できるようになる。				
		Lesson 12 In Order to Spend Happy Life	○言語材料：仮定法（過去・過去完了） ○ねらい：過去の自分を振り返り、将来の希望にについて書くことができるようになる。	8			
	※2学期期末考査	※期末評価面談（個別）	1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。			
	3	本年度既習事項の復習	○言語材料：ここまでの既習事項 ○ねらい：語彙・文法を中心に既習事項について問題演習等とおして復習する。また、それらを活用して即興での短いやり取りを行うことができるようになる。	7	小テスト（50 点満点の到達度 確認テストを実 施する。）	パフォーマンス 課題（即興のや り取りを評価す る。）	観察・ワークシ ート（各課のワ ークシートの取 り組み具合を点 検する。）
備考			合計	156			

教科名		外国語	科目名	論理・表現 I	単位	3				
対象学年		2・3年		一般・通信	必修・選択必修・選択					
科目の目標		外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語によるやり取り、話すこと（発表）、書くことの3つの領域の言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、実際のコミュニケーションの場面において目的や場面、状況に応じて情報や考え等を的確に理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。								
学習内容の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりする。 ・ディベートやディスカッションなどの活動を行う。意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合う練習を行う。 ・スピーチやプレゼンテーションなどの活動を行う。意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合う。 								
科目の評価の観点及びその趣旨		知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】						
		基本的な語句や文についての知識を活用して、情報や考え、気持ちを話したり、書いたりして、効果的に伝え合うことが出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、自分なりの理由や根拠をもとに、考えや気持ちを話したり、書いたりして伝えることが出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちを積極的に話したり、書いたりして伝えようとする。また、相手とやりとりした内容を理解し、不明な点について質疑応答することが出来る。						
教科書、教材など		Amity English Logic and Expression I（開隆堂）								
授業形態		一斉授業								
年間授業計画										
学期	月	単元	学習内容（ねらい）	週	評価					
					【知】	【思】	【態】			
一学期・前期	4	Pre-Lesson 1～4	言語材料：日常的語彙、基本的な文構造の理解	4	小テスト・ワークシート	やり取り、ショートエッセイ、発表活動	観察・ワークシートなど			
		Lesson 1	言語材料：現在形 言語活動：やり取り「どうぞ、よろしく」	4						
		Lesson 2	言語材料：過去形 言語活動：やり取り「昨日、うれしかったこと」	4						
		Action! Part 1	言語材料：既習事項・会話表現 言語活動「英語でインタビュー」	4						
	5	Lesson 3	言語材料：進行形 言語活動やり取り「絵を見て説明しよう」	4						
		Lesson 4	言語材料：未来表現：will/be going to 言語活動：ロールプレイ「ニュースの天気予報に挑戦」	4						
		Scene 1	言語材料：既習事項 言語活動：ロールプレイ「マク○ナル○で昼食を」	4						
	6	1学期中間考査	筆記問題	1				考査の得点		
		Lesson 5	言語材料：助動詞①can/may 言語活動：やり取り「友達にお願いしよう」	4				小テスト・ワークシート	やり取り、エッセイ、発表活動	観察・ワークシートなど
		Lesson 6	言語材料：助動詞②must 言語活動：やり取り「校則あれこれ」	5						
Action! Part 2	言語材料：既習事項 言語活動：やり取り「富士山に登る時、しないといけないことは？」	5								
8	Lesson 7	言語材料：現在完了①完了・結果・経験 言語活動：やり取り「今までに○○したことがある？」	5							

		Lesson 8	言語材料：現在完了②継続・完了進行形 言語活動：やり取り「ずっと〇〇しています。」	5									
		Skill Up①	言語材料：既習事項 発表活動「私の「押し」を紹介します」	7									
	9	1学期期末考査	筆記問題	1	考査の得点								
二 学 期 ・ 後 期	10	Lesson 9	言語材料：受動態 言語活動：ショート・エッセイ「私のお気に入りの漫画」	4	小テスト・ ワークシ ート	やり取り、 エッセイ、 発表活動	観察・ワー クシートな ど						
		Lesson 10	言語材料：比較①比較級・最上級 言語活動「絵を見て言ってみよう」①	4									
		Lesson 11	言語材料：比較②同等比較・倍数表現 言語活動「絵を見て言ってみよう」②	4									
		Action! Part 3	言語材料：既習事項 言語活動：「最も〇〇なものクイズ大会」	2									
		Scene 2	言語材料：既習事項・会話表現 言語活動：ロールプレイ「道案内をお願いします。」	2									
	11	Lesson 12	言語材料：動名詞 言語活動：ショート・エッセイ「私の夢」	4									
		Lesson 13	言語材料：不定詞①名詞的用法他 言語活動：発表活動「私の夢」	4									
		2学期中間考査	筆記問題	1				考査の得点					
	12	Skill Up②	言語材料：既習事項・文構成についての知識 言語活動：ショート・エッセイ「高校生はアルバイトをすべきか？」	2				小テスト・ ワークシ ート	やり取り、 エッセイ、 発表活動	観察・ワー クシートな ど			
		Lesson 14	言語材料：不定詞②副詞的・形容詞的用法 言語活動：やり取り「絵を見て言ってみよう①」	4									
	1	Lesson 15 あの 子は誰？	言語材料：分詞 言語活動：やり取り「絵を見て言ってみよう②」	3									
		Scene 3	言語材料：既習事項・会話表現 言語活動：ロールプレイ「土産屋にて」	2									
		Lesson 16	言語材料：関係代名詞①主格・目的格 言語活動：やり取り「地元企業見学の思い出」	4									
	2	Action! Part 4	言語材料：既習事項・会話表現 言語活動：発表活動「日本のお土産を紹介」	2							小テスト・ ワークシ ート	やり取り、 ショートエ ッセイ、発 表活動	観察・ワー クシートな ど
		Lesson 17	言語材料：関係代名詞②what 言語活動：やり取り「〇〇なことは・・・」	3									
		Lesson 18	言語材料：関係副詞where/when 言語活動：ショート・エッセイ「地元のおすすめ観光スポット」	3									
		Lesson 19 もし も私が...	言語材料：仮定法過去 言語活動：やり取り「もし私が〇〇だったら」	3									
		Lesson 20 おで かけするなら？	言語材料：接続詞 言語活動：「2つの文をつなげてみよう」	3									
		2学期期末考査	筆記問題	1							考査の得点		
3	まとめ	言語材料：年間の既習事項 ※問題演習による語彙・文法事項の復習	1	小テストのスコア									
備考			合計	117									

教科名	外国語	科目名	ディベート・ディスカッションⅠ	単数	4		
対象学年	2・3年次	一般・通信	必修・選択必修・選択				
科目の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語によるやり取り、話すこと（やり取り）」と複数の領域の言語活動を結び付けた統合的な言語活動を通して、ディベートやディスカッションなどの「話すこと〔やり取り〕」を中心とした発信能力及び論理的な思考力や表現力の育成を強化する。資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、賛成又は反対の立場をとった上で、論理的に一貫性のある議論を展開することや、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。						
学習内容の概要	日常的な話題や社会的な話題に関する論題について、ディベートやディスカッションなどの活動を行う。意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合う練習を行う。論証文や英文資料などを読んで、論点を整理するとともに、それらを活用して自説の優位性を示す情報や考えを詳しく話して伝え合ったり、相手の意見に質問や反論したりするディベートをする。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする。						
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
	語句や文についての十分な知識を活用して、論点を整理し、意見や主張を話したり、書いたりして、効果的に伝え合うことができる。	論点、賛成反対等の自身の立場を明確にし、反対意見について想定ながら、自説の優位性を示す情報や考えを吟味し、それらをもとに、話したり、書いたりして、意見を主張することができる。	相手の反対意見に配慮しながら、自分の意見や主張を話したり、書いたりして、主体的且つ積極的に伝えようとする。				
教科書、教材など	Watching Joyful 2024→2025（浜島書店編集部）						
授業形態	一斉授業						
年間授業計画							
期	月	単元	学習内容（ねらい）	時	評価		
					【知】	【思】	【態】
一学期・前期	4	Lesson 1	題材：小田凱人と車椅子テニス〔人物〕 言語材料：過去進行形 他 レポート：命題『日本は障がい者スポーツをプロスポーツ化すべきである』	4	到達度確認テスト（2課毎に50点のテストを実施）	級友や教師とのやり取り、紙上ディベート（各課の題材について。レポート形式。）	観察、級友や教師とのやり取り、ワークシートならびにパフォーマンステスト（意見発表、マイクロディベートなど）
	5	Lesson 2	題材：ガチャガチャ・ブーム〔社会〕 言語材料：There is/are 構文 他 レポート：命題『ギャンブル性と依存性が高い子ども向けのガチャガチャは禁止すべきである』				
	6	Lesson 3	題材：超人スポーツ〔科学〕 言語材料：関係疑問文 他 レポート：命題『eスポーツはビデオゲームでありスポーツと言えない』	5			
	7	Lesson 4	題材：沖縄の市場と食文化〔文化〕 言語材料：ifの条件節 他 レポート：命題『食育の観点からフードファイトのような番組は放送すべきではない』				
8	※1学期中間考査	中間評価面談（個別）	1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。			

	Lesson 5	題 材：キャノ・クリスタレス [自然] 言語材料：look/seem 他 レポート：命題『国は自然保護の観点から今よりも観光客を制限すべきである』	6	同上	同上	同上
	Lesson 6	題 材：アバンギャルディとダンス [人物] 言語材料：現在進行形 他 レポート：命題『国は日本の伝統舞踊を学校のカリキュラムに組み込むべきである』				
	Lesson 7	題 材：ベトナムの朝食と食文化 [世界] 言語材料：不定詞の副詞的用法 (目的) 他 レポート：命題『国は日本の食文化を守るためにインバウンド関連の外食産業を規制すべきである。』	3			
	※1学期期末考査	中間評価面談 (個別)	1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。		
二 学 期 ・ 後 期	Lesson 8	題 材：箱根駅伝 [スポーツ] 言語材料：受動態 他 レポート：命題『マスコミによる過剰な演出はスポーツの商業性を高めるためやめるべきである。』	4	到達度確認テスト (2 課毎に 5 0 点 のテストを実施)		
	Lesson 9	題 材：聖パトリックの日 [文化] 言語材料：名詞節のthat 他 レポート：命題『全ての公官庁は祝日に国旗を掲揚すべきである』				
	Lesson 10	題 材：ハリネズミの生態 [動物] 言語材料：疑問詞の疑問文 他 レポート：命題『動物園のように動物達を人工的な敷地に閉じ込めておくことはやめるべきである。』	4			
	2学期中間考査	中間評価面談 (個人)	1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。		
	Lesson 11	題 材：ゴミンゾクとゴミ問題 [社会] 言語材料：不定詞の構文 他 レポート：命題『環境美化に対する意識を高めるためにポイ捨てに罰金を課すなど厳罰化すべきである。』	4			
	Lesson 12	題 材：花火の歴史 [文化] 言語材料：使役動詞 他 レポート：命題『花火大会の観覧有料化はすべきではない』	4			
	2学期期末考査	期末評価面談 (個人)	1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。		
	まとめ	年間既習事項の復習 (主に語彙・文法事項)	1			
	備 考	・レポートのテーマは変更になる場合がある。	3 9			

教科名		外国語	科目名	総合英語 I	単数	4		
対象学年		2・3年次		一般・通信	必修・選択必修・選択			
科目の目標		五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、英語によるコミュニケーションを図る資質・能力を一層伸ばすために、五つの領域の総合的な指導を行う。聞いたり読んだりしたことの概要や要点を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようにすることを目標とする。						
学習内容の概要		音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを言語活動を通して理解し、コミュニケーションにおいて活用できるスキルを身に付ける。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を整理し、日常的・社会的な話題について考え、対話や説明、放送などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握し、英語で話したり、書いたりして伝え合う。						
科目の評価の観点及びその趣旨		知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
		音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを、使用する語句や文、情報量などについて多くの支援を活用して理解したり、やりとりしたり、聞いたり、読んだりすることが出来る。また、内容の概要や要点を捉える事が出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、理由や根拠をもとに、考えや気持ちを話したり、書いたりして伝えることが出来る。また、自ら課題を設定し、必要な資料を揃え、それについて調べ、まとめて伝えることが出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちを積極的に話したり、書いたりして伝えようとする。また、読んだり、聞いたり、相手とやりとりした内容を理解し、不明な点について質疑応答することが出来る。				
教科書、教材など		英語総合問題演習ブロッサム1 (文英堂)						
授業形態		一斉授業						
年間授業計画								
期	月	単元	学習内容(ねらい)	時	評価			
					【知】	【思】	【態】	
一学期・前期	4	Unit 1	題材：ラグビーのはじまり 言語教材：文のパターンと動詞 言語活動：私の好きなスポーツ(対話・面接)	21	小テスト(1～2課毎に50点満点の到達度確認テストを実施する。)	パフォーマンス課題(各課の題材についてのやり取りやレポート制作、発表活動を行う。)	観察・ワークシート(各課のワークシートの取り組み具合を点検する。シャドウイング、音読等を含む)	
	5	Unit 2	題材：風船が届けたすてきな夢 言語材料：時制(現在・過去) 言語活動：動画視聴・意見交換(対話・面接)					
	6	Unit 3	題材：米寿の祝いと数え年 言語材料：時制(未来) 言語活動：私が紹介したい日本(レポート・英作文)	11				
	※1学期中間考査		※中間評価面談(個別)		1	※到達度確認テストの合計を考査点に代える。		
	7	Unit 4	題材：スマートフォンを探してくれたイルカ 言語材料：現在進行形・過去進行形 言語活動：動画視聴・意見交換(対話・面接)	21	小テスト(1～2課毎に50点満点の到達度確認テストを実施する。)	パフォーマンス課題(各課の題材についてのやり取りやレポート制作、発表活動を行う。)		
		Unit 5	題材：ニューヨークでのラーメン人気 言語材料：現在完了 言語活動：英語で伝える和食のレシピ(レポート・英作文)					

	8	Unit 6	題 材：ワークショップへの案内 言語材料：助動詞 課題研究：①導入説明・テーマの決定	23			
	9	Unit 7	題 材：地球温暖化にともなう氷河の変化 言語材料：受動態 課題研究：②原稿作成				
		1学期期末考査	○聴き取り・筆記問・実技評価等※授業内実施	1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。		
二 学 期 ・ 後 期	10	Unit 8	題 材：絵画展での悲劇 言語材料：不定詞① 課題研究：③原稿作成	18	小テスト（1～2 課毎に50点満点 の到達度確認テス トを実施する。）	パフォーマンス課 題（各課の題材に ついてのやり取り やレポート制作、 発表活動を行う。 ）	観察・ワークシー ト（各課のワーク シートの取り組み 具合を点検する。 シャドウイング、 音読等を含む）
		Unit 9	題 材：盲導犬の飼い主カップル 言語材料：不定詞② 課題研究：④原稿作成				
	11	Unit 10	題 材：タイの正月の祝い方 言語教材：動名詞 課題研究：⑤原稿作成・プレゼンテーション資 料作成	18			
	11	Unit 11	題 材：日本の新たな地図記号 言語材料：分詞 課題研究：⑥プレゼンテーション資料作成・最 終調整				
	12	2学期中間考査	○聴き取り・筆記問	1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。		
		Unit 12	題 材：クッキー泥棒 言語材料：関係代名詞① 課題研究：⑦プレゼンテーション資料作成・最 終調整	18	小テスト（1～2 課毎に50点満点 の到達度確認テス トを実施する。）	パフォーマンス課 題（各課の題材に ついてのやり取り やレポート制作、 発表活動を行う。 ）	観察・ワークシー ト（各課のワーク シートの取り組み 具合を点検する。 シャドウイング、 音読等を含む）
	1	Unit 13	題 材：タコの生態 言語材料：関係代名詞② 課題研究：⑧発表・評価				
		Unit 14	題 材：東京圏の電車の混雑 言語教材：比較① 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	19			
	2	Unit 15	ゴールデン・ゲート・ブリッジの歴史 言語材料：比較② 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）				
		2学期期末考査	○聴き取り・筆記問・実技評価※授業内実施	1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。		
	3	まとめ	年間既習事項のうち、語彙・文法事項について の総復習	3			
	備 考			合計	156		

教科名	外国語	科目名	総合英語 I	単位数	3		
対象学年	2・3年次	一般・通信	必修・選択必修・ 選択				
科目の目標	五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、英語によるコミュニケーションを図る資質・能力を一層伸ばすために、五つの領域の総合的な指導を行う。聞いたり読んだりしたことの概要や要点を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようにすることを目標とする。						
学習内容の概要	音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを言語活動を通して理解し、コミュニケーションにおいて活用できるスキルを身に付ける。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を整理し、日常的・社会的な話題について考え、対話や説明、放送などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握し、英語で話したり、書いたりして伝え合う。						
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
	音声、語、慣用表現、文の構造や文法事項などを、使用する語句や文、情報量などについて多くの支援を活用して理解したり、やりとりしたり、聞いたり、読んだりすることが出来る。また、内容の概要や要点を捉える事が出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、理由や根拠をもとに、考えや気持ちを話したり、書いたりして伝えることが出来る。また、自ら課題を設定し、必要な資料を揃え、それについて調べ、まとめて伝えることが出来る。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちを積極的に話したり、書いたりして伝えようとする。また、読んだり、聞いたり、相手とやりとりした内容を理解し、不明な点について質疑応答することが出来る。				
教科書、教材など	英語総合問題演習ブロッサム1（文英堂）						
授業形態	一斉授業						
年間授業計画							
期	月	単元	学習内容（ねらい）	時	評価		
					【知】	【思】	【態】
一学期・前期	4	Unit 1	題 材：ラグビーのはじまり 言語教材：文のパターンと動詞 言語活動：私の好きなスポーツ（対話・面接）	8	小テスト・ワークシート	パフォーマンス課題・レポート	観察・ワークシート
	5	Unit 2	題 材：風船が届けたすてきな夢 言語材料：時制（現在・過去） 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	8			
	6	Unit 3	題 材：米寿の祝いと数え年 言語材料：時制（未来） 言語活動：私が紹介したい日本（レポート・英作文）	8			
		1学期中間考査	○聴き取り・筆記問	1	聴き取り・筆記問題のスコア		
	7	Unit 4	題 材：スマートフォンを探してくれたイロカ 言語材料：現在進行形・過去進行形 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	8	小テスト・ワークシート	パフォーマンス課題・レポート・課題研究	観察・ワークシート
		Unit 5	題 材：ニューヨークでのラーメン人気 言語材料：現在完了 言語活動：英語で伝える和食のレシピ（レポート・英作文）	8			

	8	Unit 6	題 材：ワークショップへの案内 言語材料：助動詞 課題研究：①導入説明・テーマの決定	8			
	9	Unit 7	題 材：地球温暖化にともなう氷河の変化 言語材料：受動態 課題研究：②原稿作成	9			
		1学期期末考査	○聴き取り・筆記問・実技評価等※授業内実施	1	聴き取り・筆記問題のスコア		実技評価等
二 学 期 ・ 後 期	10	Unit 8	題 材：絵画展での悲劇 言語材料：不定詞① 課題研究：③原稿作成	7	小テスト・ワーク シート	課題研究	観察・ワークシ ート
		Unit 9	題 材：盲導犬の飼い主カップル 言語材料：不定詞② 課題研究：④原稿作成	7			
	11	Unit 10	題 材：タイの正月の祝い方 言語教材：動名詞 課題研究：⑤原稿作成・プレゼンテーション資 料作成	7			
		Unit 11	題 材：日本の新たな地図記号 言語材料：分詞 課題研究：⑥プレゼンテーション資料作成・最 終調整	7			
	12	2学期中間考査	○聴き取り・筆記問	1	聴き取り・筆記問題のスコア		
		Unit 12	題 材：クッキー泥棒 言語材料：関係代名詞① 課題研究：⑦プレゼンテーション資料作成・最 終調整	7	小テスト・ワーク シート	課題研究・パフォ ーマンス課題	観察・ワークシ ート
	1	Unit 13	題 材：タコの生態 言語材料：関係代名詞② 課題研究：⑧発表・評価	7			
		Unit 14	題 材：東京圏の電車の混雑 言語教材：比較① 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	6			
	2	Unit 15	ゴールデン・ゲート・ブリッジの歴史 言語材料：比較② 言語活動：動画視聴・意見交換（対話・面接）	6			
		2学期期末考査	○聴き取り・筆記問・実技評価等※授業内実施	1	聴き取り・筆記問題のスコア		実技評価等
	3	まとめ	年間既習事項のうち、語彙・文法事項について の総復習	2	小テスト		観察
	備 考			合計	117		

教科名		外国語	科目名	エッセイライティング I	単数	4	
対象学年		2・3年次		一般・通信	必修・選択必修・選択		
科目の目標		「読むこと」、「聞くこと」と「書くこと」を結ぶ付けた活動を通して、発信能や論理的思考力、表現力を育成する。資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちや意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、複数の段落で構成された文章を作成し、「書いて伝えること」ができるようにする。					
学習内容の概要		目的や場面・状況などに応じた論理の構成や展開を理解し、それに応じて適切な表現や文体を選んで、英語でエッセイを書く。					
科目の評価の観点及びその趣旨		知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】			
		語、慣用表現、文の構造や文法事項について理解し、読んだり聞いたりした内容についての確に把握できる。また、与えられた題材について、論理の構成や展開を工夫したエッセイを書くことができる。	目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、説得力のある理由や根拠をもとに、考えをまとめ、書いて伝えることができる。	目的や場面、状況などに応じて、自分の考えを積極的に話したり、書いたりして伝えようとする。また、読んだり、聞いたりした内容について、不明な点があれば、自ら質疑応答することが出来る。			
教科書、教材など		EARTHRISE English Logic and Expression II Standard					
授業形態		一斉授業					
年間授業計画							
期	月	単元	学習内容(ねらい)	時	評価		
					【知】	【思】	【態】
一学期・前期	4	Part 1	題 材：物事のメリットとデメリット 言語材料：現在・過去・未来・完了時制 レポート：日本独特の慣習を紹介しよう	4	到達度確認テスト (2課毎に50点満点のテストを実施する。	エッセイ(各課の題材について。レポート形式。)	観察・ワークシートならびにパフォーマンステスト(シャドウイング音読・プレゼンテーションなど)
		Lesson 1					
		Lesson 2					
		Lesson 3					
	6	Lesson 4	題 材：パーチャルウォーター 言語材料：It is said that~ レポート：資源の節約について考えよう	4			
		Lesson 5					
	7	※1学期中間考査	中間評価面談(個別)	1	※到達度確認テストの合計を考查点に代える。		
		Lesson 5	題 材：アートとメディア 言語材料：現在分詞と過去分詞 レポート：お気に入りのセレブを紹介しよう	4	到達度確認テスト (2課毎に50点満点のテストを実施する。	エッセイ(各課の題材について。レポート形式。)	観察・ワークシートならびにパフォーマンステスト(シャドウイング音読・プレゼンテーションなど)
		Lesson 6	題 材：ファッション 言語材料：関係詞 レポート：おすすめのファッションブランド				
	8	Lesson 7	題 材：書籍文化 言語活動：比較表現 レポート：紙の本は将来なくなるだろうか?	4			

	9	Lesson 8	題 材：生活を変えた発明 言語材料：仮定法 レポート：生活を変えた発明を紹介しよう				
	※1学期期末考査	期末評価面談（個別）		1	到達度確認テストの合計を考査点に代える。		
二 学 期 ・ 後 期			題 材：前期のまとめ 言語材料：既習文法事項 レポート：なし	2	到達度確認テスト （2課毎に50点 満点のテストを実 施する。	エッセイ（各課の 題材について。レ ポート形式。）	観察・ワークシー トならびにパフォ ーマンステスト（ シャドウイング音 読・プレゼンテー ションなど）
	Part 2 Lesson 1	題 材：パーティー 言語材料：感謝・お祝い・謝罪の表現 レポート：招待を丁寧に断ろう	4				
	Lesson 2	題 材：合唱コンクール前の緊張 言語材料：心配・励ましの表現 レポート：友人に励ましの言葉を贈ろう					
	Lesson 3	題 材：フードフェスティバル 言語材料：勧誘・好みを述べる表現 レポート：イベントのチラシを作ろう	4				
	Lesson 4	題 材：心と体の健康 言語材料：助言・忠告の表現 レポート：不健康な人に助言しよう					
	2学期中間考査	中間評価面談（個別）		1	到達度確認テストの合計を考査点に代える。		
	Lesson 5	題 材：ボランティア活動 言語材料：依頼の表現 レポート：有名人にボランティアを依頼しよう	4		到達度確認テスト （2課毎に50点 満点のテストを実 施する。	エッセイ（各課の 題材について。レ ポート形式。）	観察・ワークシー トならびにパフォ ーマンステスト（ シャドウイング音 読・プレゼンテー ションなど）
	Lesson 6	題 材：都会と田舎 言語材料：賛成・反対の表現 レポート：住みやすいのはどっち？					
	Lesson 7	題 材：市議会議員選挙 言語材料：意見を述べる／求める表現 レポート：生徒会長立候補演説をしよう	5				
	Further Activity	題 材：パラグラフの分析 言語材料：例示・比較・因果関係・時系列に関 する表現 レポート：環境問題について自分の考えを伝え 合おう					
2学期期末考査	期末評価面談（個別）		1	※到達度確認テストの合計を考査点に代える。			
備 考			合計	39			

教科名	家庭	科目名	家庭総合	単元	4			
対象学年	2年 F群		一般・通信		必修・選択必修・選択			
科目の目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>							
学習内容の概要	<p>A 人の一生と家族・家庭及び福祉 B 衣食住の生活の科学と文化」,</p> <p>C 持続可能な消費生活・環境 D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」</p>							
科目の評価の観点及びその趣旨	<p>知識・技能(技術)【知】</p> <p>生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>思考・判断・表現【思】</p> <p>生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度【態】</p> <p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。</p>					
教科書、教材など	教科書『家庭総合 自立・共生・創造』(東京書籍)							
授業形態	一斉授業、実習							
年間授業計画								
学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価			
					【知】	【思】	【態】	
1学期(前期)	4	第1章 生涯を見通す 1 人生を展望する 2 目標を持って生きる	○自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。	1	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート	
	5	第2章 人生をつくる 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家族生活と社会	○生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 ○よりよい家庭生活を実現するため、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。	2	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート	
	6	第3章 子どもと共に育つ 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境	○子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 ○社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。	4		観察 調理実習レポート	観察 調理実習レポート	
	7	1学期中間考査		1	筆記問題			
			第4章 超高齢化社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢期の心身の特徴 3 高齢者の自立を支える 4 これからの超高齢社会	○高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。 ○自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考えて実践しようとする。	3	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート

2 学期 (後期)	8	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	・生活をあらためて見直し、解決することを検討する。 ・具体的な解決方法を探り、実際に改善する。	1		ホームプロジェクト(夏休み課題)	ホームプロジェクト(夏休み課題)	
		第5章 共に生き、共に支える	○共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。	2		観察 調理実習レポート	観察 調理実習レポート	
		1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる						
	9	1 学期期末考査		1	筆記問題			
	10	10	第6章 食生活をつくる	○よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化等を理解する。 ○自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。 ○自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。	5	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
			第7章 衣生活をつくる	○用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。 ○健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。 ○手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。	5	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
			1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する 4 被服を作る 5 衣生活の文化と知恵 6 これからの衣生活					
			2 学期中間考査		1	筆記問題		
			第8章 住生活を作る	○日本の住文化の継承・創造に寄与するために、気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。 ○持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。	4		観察 調理実習レポート	観察 調理実習レポート
			1 住生活の変遷と住居の機能 2 安全で快適な住生活の計画 3 住生活の文化と知恵 4 これからの住生活					
第9章 経済生活を営む			○自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 ○生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。	5	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート	
1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す 5 家計をマネジメントする 6 これからの経済生活								
11		12	第10章 持続可能な生活を営む	○持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境との関わりについて理解する。	1	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
			1 持続可能な社会を目指して 2 一人一人の力で社会を動かす					
	2 学期期末考査		1	筆記問題				
3	2	まとめ・復習	○これまでの学習内容を踏まえて、これからの自身の生活をよりよくするために大切なことは何か考える。	2	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート	
備考			合計	39				

教科名	家庭	科目名	保育基礎	単数	4		
対象学年	2・3年 A群	一般・通信	必修修・選択必修修・選択				
科目の目標	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>						
学習内容の概要	(1) 子供の保育 (2) 子供の発達 (3) 子供の生活と養護 (4) 子供の福祉 (5) 子供の文化						
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。				
教科書、教材など	教科書『保育基礎』（実教出版）						
授業形態	一斉授業、実習・実験						
年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1 学期 (前期)	4	1章 子どもの保育	○保育の意義と重要性や保育が人間形成にどのようにかわるかを考える。 ○保育者観についての考察を深める。 ○家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の場の保育環境の特徴や役割を理解する。	30	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		5 3 保育の環境					
	6	2章 子どもの発達	○乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり、共通性や個別性といった特性があることを理解する。	12	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		1 子どもの発達の特性					
	7	1 学期中間考査		1	筆記問題		
		2章 子どもの発達	○乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ、新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解する。 ○心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。	22	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	2 子どものからだの発達 3 子どもの心の発達						
	8	3章 子どもの生活	○子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 ○乳幼児期の栄養や食事の特徴を、実習を通して理解する。	12	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		1 子どもの生活と擁護(幼児食実習)					
	9	1 学期期末考査		1	筆記問題		

2 学 期 (後 期)	10	3章 子どもの生活 2 生活習慣の形成 3 健康管理と事故防止	○基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。 ○子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種、事故の実態や原因などを理解する。	22	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	11	4章 子どもの文化 1 子どもの文化の意義と支える場	○絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達とどのような関わりを持つか、その意義について理解する。	10	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		2学期中間考査		1	筆記問題		
	12	4章 子どもの文化 2 子どもの遊びと表現活動 (保育実習)	○子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性などを、具体的に遊具等を作るなどの活動を通じて理解する。 ○実際に子どもと触れあう機会や保育の様子を観察などを通じて、子どものものの見方や感じ方、子どもとの適切な関わり方など、保育への理解を深める。	16	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート 保育実習レポート	観察 振り返りシート 保育実習レポート
	1	5章 子どもの福祉 1 子ども観 2 子どもの福祉 3 子育て支援	○子ども観は国や地域、時代によって変化していることを理解する。 ○子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。	20	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	2	2学期期末考査		1	筆記問題		
	3	まとめ・復習	○これまでの学習内容を踏まえて、これからの自身の生活をよりよくするために大切なことは何か考える。	8	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	備考			合計	156		

教科名	家庭	科目名	フードデザイン	単位数	4		
対象学年	2・3年 B群	一般・通信	必履修・選択必履修・ 選択				
科目の目標	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>						
学習内容の概要	<p>(1) 健康と食生活</p> <p>(2) フードデザインの構成要素</p> <p>(3) フードデザイン実習</p> <p>(4) 食育と食育推進活動</p>						
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能(技術)【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど、フードデザインに必要な要素を相互に関連付けて理解し、実践できる技術を習得している。	多面的に食生活の現状を捉えて思考を深め、食生活の充実向上を目指して自ら課題を発見するとともに、家庭や地域の実情に合わせてより豊かな食生活を創造することによって、課題を解決できる。	人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、進んで学ぶ姿勢を持ちつつ、食材を適切に選択し作るところから食べるところまでを総合的に捉えて、主体的に計画・実践することができる。				
教科書、教材など	教科書『フードデザイン』（実教出版）						
授業形態	一斉授業、調理実習						
年間授業計画							
学期	月	単元	学習内容(ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1学期(前期)	4	第1章 食生活と健康 1節 食事の意義と役割 2節 食を取り巻く現状	○食事の基本的な意義を理解する ○現代の食に関する問題点を把握する。 ○健康維持のために食事がどのように大切かを理解する。	12	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	5	第2章 栄養素のはたらきと食事計画 1節 栄養素のはたらき 2節 ライフステージと栄養 3節 食事摂取基準と栄養計画	○各種栄養素の特徴と体内ではたらき、代謝について理解する。 ○各ライフステージの栄養上の注意点を把握する。 ○「食事摂取基準」の考え方を理解する。	16	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	6	第6章 フードデザイン実習 調理実習(和風献立)	○調理上の基本的事項を習得し、調理実習や家庭生活の向上にいかす。	6		観察 調理実習レポート	観察 調理実習レポート
	7	1学期中間考査		1	筆記問題		
			第3章 食品の特徴・表示・安全 1節 食品の特徴と性質	○穀類、砂糖、大豆・豆製品、野菜、果物、海藻類、魚介類、肉類、卵、乳・乳製品、油脂、調味料、香辛料等様々な食品について、	36	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート

	8	2節 食品の生産と流通	それぞれの特徴を把握する。 ○多様で多量な輸入食材と日本の食料事情の現状と将来について考える。				
	9	第6章 フードデザイン実習 調理実習（洋風献立）	○調理上の基本的事項を習得し、調理実習や家庭生活の向上にいかす。	6		観察 調理実習レポート	観察 調理実習レポート
		1学期期末考査		1	筆記問題		
2 学 期 （ 後 期）	10	第3章 食品の特徴・表示・安全 3節 食品の選択と表示 4節 食品の衛生と安全	○食品の表示についての理解を深め、適切な選択をする。 ○食中毒や衛生についての知識を深め、衛生と安全に配慮した調理ができるようにする。	1.4	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	11	第4章 調理の基本 1節 調理とおいしさ 2節 調理操作 3節 調味操作	○おいしさにかかわる条件を知り、調理にいかせるようにする。 ○計量の方法、食品の切り方、調理方法の基礎、加熱調理器具ごとの特徴などについて、具体的な知識と技術を身につける。 ○調味に関する基本的な知識を習得する。	2.0	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		第6章 フードデザイン実習 調理実習（中華風献立）	○調理上の基本的事項を習得し、調理実習や家庭生活の向上にいかす。	6		観察 調理実習レポート	観察 調理実習レポート
		2学期中間考査		1	筆記問題		
	12	第5章 料理様式とテーブルコーディネート 1節 料理様式と献立 2節 テーブルコーディネート	○日本料理、西洋料理、中国料理等それぞれの様式に応じた食卓構成と作法を理解する。 ○和風・洋風・中国風ごとのテーブルコーディネートの特徴を知り、状況に応じたコーディネートについて考えたり、実際にコーディネートを実践したりする。	1.4	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		第6章 フードデザイン実習 1節 献立作成	○栄養バランス、年齢、性、目的を考慮した食事の献立について、要点が理解でき、日常食、行事食など用途に適した献立が作成できる。	4	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
	1	第7章 食育 1節 食育の意義と推進活動	○食育が生活とどのようにかかわっているか考える。	4	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
		第6章 フードデザイン実習 調理実習（行事食献立）	○これまで身につけた知識を調理にいかし、手際よくつくることができるようにする。	6		観察 調理実習レポート	観察 調理実習レポート
	2	2学期期末考査		1	筆記問題		
	3	まとめ・復習	○これまでの学習内容を踏まえて、これからの自身の生活をよりよくするために大切なことは何か考える。	8	ワークシート 小テスト	観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
備考			合計	156			

教科名	情報	科目名	情報 I	単位数	4
対象学年	2、3年 F群	一般・通信	必履修	選択必履修・選択	
科目の目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>				
学習内容の概要	<p>(1) 情報社会の問題解決 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する学習活動を通して、問題を発見・解決する方法を身につける。また、情報が人や社会に果たす役割と影響、情報モラルなどについて理解する。情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決し、望ましい情報社会の構築に寄与する力を養う。</p> <p>(2) コミュニケーションと情報デザイン 目的や状況に応じて受け手にわかりやすく情報を伝える活動を通じて、情報の科学的な見方・考え方を働かせて、メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について科学的に理解する。これにより効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身につけるようにするとともに、コンテンツを表現し、評価し改善する力を養う。</p> <p>(3) コンピュータとプログラミング 問題解決にコンピュータや外部装置を活用する活動を通して情報の科学的な見方・考え方を働かせて、コンピュータの仕組みとコンピュータでの情報の内部表現、計算に関する限界などを理解する。また、アルゴリズムを表現しプログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークの機能を使う方法や技能を身に付け、モデル化やシミュレーションなどの目的に応じてコンピュータの能力を引き出す力を養う。</p> <p>(4) 情報通信ネットワークとデータの活用 情報通信ネットワークや情報システムの仕組みを理解するとともに、データを収集、整理、分析する方法、情報セキュリティを確保する方法を学ぶ。また、目的に応じて情報通信ネットワークや情報システムによる提供されるサービスを安全かつ効率的に活用する力やデータを多面的に精査しようとする態度、情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>				
科目の評価の観点及びその趣旨	知識・技能（技術）【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】		
	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めている。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけている。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度が身についている。		
教科書、教材など	『図説情報 I』（実教出版）				
授業形態	一斉授業				

年間授業計画

学期	月	単元	学習内容 (ねらい)	時間	評価		
					【知】	【思】	【態】
1	4	序章 情報社会と私たち 今までの情報技術とこれからの情報技術	・情報や知識, IoT, 人工知能 (AI)について学ぶ。・情報の特徴 (残存性, 複製性, 伝播性) について学ぶ。・情報化による利便性 (情報化の「光」) と危険性 (情報化の「影」) について学ぶ。・匿名性の特徴, ネットワーク上のルールとマナー, 情報の受信者・発信者としてのモラルと責任について学ぶ。	1	小テスト	小テスト	観察 小テスト
	5	1章 情報社会と問題解決 1. 問題解決 2. 情報社会における法規と制度 3. 情報セキュリティと個人が行う対策	問題解決の手順, 情報の収集と整理, 情報の分析について学ぶ。 情報の管理と保護, 知的財産権と産業財産権, 著作権について学ぶ。 認証とパスワード, 情報の暗号化, コンピュータウイルスと対策について学ぶ。	6			
	6	2章 コミュニケーションと情報デザイン 1. メディア 2. コミュニケーション 3. 情報デザインと表現の工夫	メディアの機能と特性, メディアリテラシーについて学ぶ。 効果的なコミュニケーション, インターネット上のコミュニケーションについて学ぶ。 情報デザインの考え方, 表現の工夫について学ぶ。	7	小テスト	小テスト	小テスト
	7	4. コンテンツの制作	コンテンツ設計, スライド制作と発表について学ぶ。		中間考査	中間考査	
	8	3章 情報とコンピュータ 1. 情報の表し方 2. コンピュータでのデジタル表現 3. 情報機器とコンピュータ	デジタル表現の特徴, 2進数と情報量について学ぶ。 数値の表現, 文字のデジタル表現, 音の表現, 画像の表現, 動画の表現とファイル形式について学ぶ。 さまざまな情報機器, ハードウェアとソフトウェアについて学ぶ。	6	小テスト	小テスト	小テスト
	9				期末考査	期末考査	
	10	4章 アルゴリズムとプログラム 1. アルゴリズムと基本構造	アルゴリズム, アルゴリズムの基本構造について学ぶ。 簡単なプログラムの作成, プログラムと変数について学ぶ。	8	小テスト	小テスト	小テスト
	11	2. プログラムの基礎 3. プログラムの応用	配列とリスト, 関数について学ぶ。		中間考査	中間考査	
	12	5章 モデル化とデータの活用 1. モデル化 2. シミュレーション 3. データの活用	モデル化の基礎, モデル化 (図的モデル) について学ぶ。 シミュレーションの基礎, シミュレーション (確定的モデル), シミュレーション (確率的モデル) について学ぶ。 データの収集, データの分析について学ぶ。	5	小テスト	小テスト	小テスト
	1	6章 ネットワークと情報システム 1. ネットワークの仕組み 2. 情報システムとサービス 3. 情報セキュリティ	ネットワークの構成とプロトコル, インターネットの仕組みについて学ぶ。 さまざまな情報システム, データの流れと情報システム, データベースとデータモデルについて学ぶ。 情報セキュリティと対策, 暗号技術について学ぶ。	6	期末考査	期末考査	
2	備考		合計	39			

「総合的な探究の時間」

観察・実験・実習、調査・研究、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的・問題解決的な学習を取り入れながら、横断的・総合的な学習を行います。

探究的な学習を実現するため、自ら課題を見つけます。そして、情報の集め方、まとめ方、報告や発表・討論の仕方などを学び、問題解決に向けての主体的・協働的な態度を育てます。さらに、自己や社会をみつめ、自己の在り方・生き方やよりよい社会の実現について考えます。

開講講座例（昨年度のもの）

テーマ	目 標	活 動 内 容
つくろう I	自分を取り巻く環境に興味関心を持つ。	校内で不便を感じたり、不足に思う物品を製作する。
小さな読書会	さまざまなジャンルの本に触れ、読む楽しさを分かち合う。	みんなで同じ本を読み、意見交換を行うことにより、読書に親しむ気持ちを養う。
探究しながら絵を描くということ	楽しみながら自分の表現したいものを追究していくことで、創造性と自己表現を深める。	さまざまな技法で、さまざまなジャンルの絵を描く。作品は文化祭に出展する。
手話と音楽を楽しもう	手話に親しみ、音楽を楽しむ。	手話を少しずつ覚え、表現の世界を広げる。いろいろなジャンルの音楽を聴き、イメージをふくらませて、楽器演奏や曲作りにも挑戦し、文化祭で発表する。
塗る	想像力、集中力を高める。	細かい塗り絵を作成する。作品は文化祭に出展する。
動しましょう	体力・柔軟性の向上を目指す	補強運動やランニング等のトレーニングや球技種目を実施する。
Z I N E を作ろう	Z I N E（小冊子）を作ることで、情報を整理し、効果的に伝えるための技術を磨く。	インターネット等を活用して資料を集め、構成を工夫して自分だけのZ I N E（小冊子）を作る。作品は文化祭に出展する。
手作り小物	作品作りをとおして創造性を養う。	手縫いの基本や各種手芸の技法を学び、手芸小物を製作する。作品は文化祭に出展する。

開講講座は、年度ごとに変更する。

の時間割

校時	時刻	月	火	水	木	金
0	16:30 ~17:15 科目 教室					
1	17:30 ~18:15 科目 教室					
給食	18:15 ~18:30					
2	18:30 ~19:15 科目 教室					
3	19:20 ~20:05 科目 教室					
4	20:10 ~20:55 科目 教室			H R		総合的な探究の時間